

第五次長野市総合計画後期基本計画

幸せ実感都市  
『ながの』

～オールながので未来を創造しよう～

(素案)

# 基本計画

## はじめに

- 1 後期基本計画策定の趣旨
- 2 後期基本計画策定の背景
- 3 総合計画と総合戦略の統合
- 4 まちづくりの方向性
- 5 計画の構成と期間
- 6 計画全体に共通する取組
- 7 分野横断テーマ（総合戦略）
- 8 施策の展開
- 9 計画の推進に向けて

## 1 後期基本計画策定の趣旨

---

本市は、令和 8（2026）年度を目標年次とする第五次長野市総合計画基本構想（以下「基本構想」という。）に掲げるまちの将来像「幸せ実感都市「ながの」～オールながので未来を創造しよう～」の実現に向け、平成 29（2017）年度から令和 3（2021）年度までを計画期間とする第五次長野市総合計画前期基本計画（以下「前期基本計画」という。）に取り組んできました。

前期基本計画の策定から 4 年が経過する中で、令和元（2019）年 10 月の東日本台風災害や新型コロナウイルス感染症の拡大など、本市を取り巻く社会情勢は大きく変化しています。

また、人口減少の進展に伴い、平成 27（2015）年度に、長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）を策定し、令和 3（2021）年度までの 2 年間の延長を経て、前期基本計画と整合性を取りながら人口減少問題に取り組んできました。

第五次長野市総合計画後期基本計画（以下「後期基本計画」という。）の策定においては、後期基本計画と総合戦略を統合することにより、人口減少社会及び少子高齢化社会に向けて、より迅速かつ柔軟に取り組んでいきます。

後期基本計画は、社会経済の変化を踏まえ、前期基本計画の施策の進捗状況を検証し、施策の継続性と新たな視点に着目して、基本構想の実現に向け策定するものです。

## 2 後期基本計画策定の背景

### (1) 本市を取り巻く状況

#### ①人口減少と少子高齢化

我が国の総人口は、平成 20（2008）年の 1 億 2,808 万人をピークに減少に転じており、令和 35（2053）年には、1 億人を下回ると推計されています。

また、総人口の減少と並行して少子高齢化が進行し、年少人口（0～14 歳）及び生産年齢人口（15～64 歳）の割合が減少する一方で、高齢者人口（65 歳以上）の割合が上昇し、人口の年齢構造が大きく変化していきます。

加えて、依然として若い世代を中心に地方から東京圏\*への人口流出が続いており、人口の東京一極集中が進んでいます。

本市においても、人口減少・少子高齢化の進行に加え、東京圏への人口流出を踏まえた取組が求められます。

#### ②安全・安心な社会の実現

近年国内では、平成 23（2011）年に発生した東日本大震災をはじめ、集中豪雨や台風などによる多くの激甚な自然災害に見舞われており、本市でも令和元年東日本台風災害により、甚大な被害が発生しました。加えて、近い将来、南海トラフ地震などの巨大地震の発生が予想されています。

また、自然災害に加え、世界中に感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は医療分野のみならず、社会経済に大きな影響を与え、人々の意識や行動に大きな変化をもたらしました。

激甚化する自然災害や新型ウイルスなどの新たな脅威に対する安全・安心な社会の実現への取組が求められています。

#### ③社会経済情勢の大幅な変化

日本を取り巻く社会経済情勢は大きく変化しております。デジタル技術の急速な進展や経済のグローバル化、少子高齢化、新型コロナウイルスの感染拡大などにより、産業構造や雇用形態、就労形態が大きく変わろうとしています。

また、新型コロナウイルスの感染拡大により国内経済は停滞し、それに伴う失業者や生活困窮者が増加しています。

コロナ禍で困窮する市民や事業者への支援とともに、産業構造の变革やグローバル化への対応、新たな雇用の創出への取組が求められます。

このような中で本市は、令和 2（2020）年 5 月に、本市と周辺 8 市町村で構成する長野地域連携中枢都市圏の経済基盤の底上げを図るため、「長期戦略 2040」を策定し、「自然循環と経済発展を両立させる、長野らしい、世界に誇る産業構造」の実現に向けて取り組みます。

#### ④持続可能な地域経営

今後も人口が減少するとともに、高齢化の進展が予測されることから、社会保障関係経費の増加が見込まれています。更には高度経済成長期に整

備した公共施設の更新時期が集中することから、改修などの経費も必要になり、厳しい財政状況が続くことが予想されます。

そのため、持続可能な行財政運営を目指し、行政サービスの効率化に取り組めます。

## (2) 基本指標

### ①人口推計

- 総人口（※グラフは令和2年の国勢調査の結果を反映したもの）
- 年齢3区分別人口（※グラフは令和2年の国勢調査の結果を反映したもの）
- 世帯数（※グラフは令和2年の国勢調査の結果を反映したもの）
- 人口ピラミッド
  - [平成2（1990）年]
  - [令和2（2020）年]
  - [令和32（2050）年]

### ②人口動態

- 自然動態と社会動態（※グラフは令和2年の国勢調査の結果を反映したもの）

### ③就業構造

- 就業者数の産業別構成比（※グラフは平成27年と令和2年の国勢調査の結果を反映したもの）
  - ・全国
  - ・長野県
  - ・長野市
- 総生産の産業別構成比（※グラフは平成25年度と平成29年度の市民所得推計結果報告書等を反映したもの）
  - ・全国
  - ・長野県
  - ・長野市

(3) 土地の利用状況

①土地の利用区分面積 (平成28年4月と令和2年4月現在)

土地の利用区分		面積 (ha)	構成比 (%)
農 地	田		
	畑		
森 林			
原野等 (原野・採草放牧地)			
水 面・河川・水路			
道 路			
宅 地	住宅地		
	工業用地		
	その他の宅地		
その他			
市全体			

②関係法令に基づく計画区域面積 (平成28年4月と令和2年4月現在)

関係法令の名称	計画区域の名称	計画区域面積 (ha)	
都市計画法	都市計画区域		市域の約 %
農業振興地域の整備に関する法律	農業振興地域		市域の約 %
森林法	地域森林計画対象民有林		市域の約 %
自然公園法	国立公園区域		市域の約 %

### 3 総合計画と総合戦略の統合

---

本市では総合計画に基づき、長期的な展望に立って、子育てや教育、福祉、環境、商工業、都市整備など、様々な分野でまちづくりを進めてきました。

一方で、人口減少・少子高齢化の進行に加え、若い世代を中心に東京圏への人口流出が続いています。人口減少は地域活力を減退させる大きな要因であることから、喫緊に取り組まなければならない最重要課題と位置付け、平成 26（2014）年 9 月に「人口減少に挑む長野市長声明」として、「定住人口の増加」、「交流人口の増加」、「特色ある地域づくり」を積極的に推進し、人口減少に挑み、元気と活力があふれるまちを目指す強い決意を表明しました。

また、これらの施策実現のため、人口減少対策を総合的に推進する部局横断的組織として「人口減少対策本部」を同年 10 月に設置するとともに、企画政策部企画課内に人口減少対策室を置き、平成 27（2015）年 4 月には人口減少対策課（現 人口増推進課）に改め、組織体制を強化しました。

さらに、平成 28（2016）年 2 月に「長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）」を策定し、平成 27（2015）年度から令和元（2019）年度までの 5 年間を当初の計画期間、令和 2（2020）年度から令和 3（2021）年度の 2 年間を延長期間とし、人口減少対策及び地域の活性化に取り組んできました。

国においては、平成 26（2014）年 11 月に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、同年 12 月に平成 27（2015）年度から 5 年間の目標や施策の基本的方向をまとめた第 1 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、令和元（2019）年 12 月に令和元年度を初年度とする期間 5 年の第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生の取り組みを進めています。

今後においては、人口減少・少子高齢化対策と地域活性化への取組は、まちづくりを進めていく上で欠かすことができないものであることから、第五次長野市総合計画後期基本計画と総合戦略を統合し、分野横断テーマとして取り組んでいきます。



## 4 まちづくりの方向性

---

### (1) まちづくりの基本方針（第五次長野市総合計画 基本構想 再掲）

人口減少の推計などが表すように、時代の転換期を迎えていることから、今後は従来どおりの考え方、姿勢、手法では未来を切り開いていくことはできません。

以下の基本的な方針の下に本計画を実行し、まちの将来像の着実な実現を目指すこととします。

#### ①市民の「幸せ」の実現

人口減少、少子・高齢化が進むとともに、価値観が多様化し行政課題が複雑になる中、地方公共団体の基本的役割である地方自治法第1条の2「住民の福祉の増進」に向け、市民個人や地域社会の「幸せ」の増進を図ることが重要です。

時代の大きな転換期である今こそ行政の基本的役割を見つめ直し、市民が真の豊かさや幸せを実感し、いきいきと生活できるまちを目指します。

#### ②「持続可能な」まちづくりの推進

財政状況は厳しさが増すことが見込まれるため、足腰の強い財政基盤を確立し、限りある行政経営資源を効果的・効率的に活用し持続可能なまちを目指します。

公共施設については、市民の理解を得ながら、既存施設の複合化・多機能化を進めるとともに、最適な維持・管理や計画的な改修等により長寿命化を図るなど、有効に活用しながらサービスを提供し、将来世代が安心して暮らし続けられるよう見直しを進めます。

また、市民の意思と力を活かした市民との協働のまちづくりが進む中、市民や地域の力を原動力にしながら、多様な主体によるまちづくりの担い手\*と連携して持続可能なまちを目指します。

さらに、地球温暖化の防止や生物多様性\*の確保、限りある資源の有効活用など、直面する環境問題の解決に向けた取組を実施し、持続可能なまちを目指します。

#### ③「長野市らしさ」の発揮と「まちの活力と魅力」の創出

自然環境、交通環境等、それぞれに強みと可能性を有しており、強みを更に磨き上げるとともに、可能性を掘りながら長野市らしさを十分に発揮したまちづくりを戦略的に推進します。

また、人口の減少は、まちの活力の低下に影響するひとつの要因となることから歯止めをかけるとともに、本市特有の地域資源を活用してまちの活力と魅力の維持・創出を目指します。

(2) まちの将来像（第五次長野市総合計画 基本構想 再掲）

理想とする未来の長野市を具体的にイメージし、本計画の目標となる「まちの将来像」を次のように定めます。



人口減少社会、成熟社会が到来した現在、序論(\*106 頁から 114 頁まで参照)で整理したように本市が有する強みを活用しながら、抱える課題を可能性に変え「長野市らしい魅力ある」まちとして、歩み続けていくことが必要となっています。

価値観が多様化し行政課題が複雑化していますが、住民の福祉の増進を図るとともに、本市の多様性ある構成\*や成り立ち・特性を踏まえた地域づくりを進め、市全体の「幸せ」の総和の拡大を目指していくことを「幸せ実感都市」と表しています。

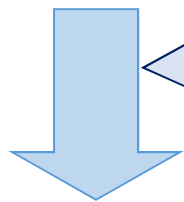
また、副題として市民が本市への誇りを胸に未来への希望を実感できるよう、全市を挙げてまちづくりに取り組むことを「“オールながの”で未来を創造しよう」と表現しています。

### (3) 本市人口の将来展望

国立社会保障・人口問題研究所の平成30年度推計（以下、社人研推計）に準拠すると、本市の総人口は、2060（令和42）年には、27万人を割り込むことが想定されています。これに対して、各種施策を進め、合計特殊出生率及び社会移動の状況の改善を図ることで、2016（平成28）年2月に策定した長野市人口ビジョンで示す「本市が目指す将来の姿」である「2060（令和42）年に人口30万人」を確保することができます。

#### ■ 本市が目指す将来の姿 ■（資料編「人口ビジョン」より抜粋）

○人口 2060（令和42）年 23.2万人（社人研推計準拠）



・合計特殊出生率 2025（令和7）年に 1.84  
2035（令和17）年に 2.07  
・社会移動の状況 2020（令和2）年に 移動均衡  
2025（令和7）年以降 約80人増/年間

**数値更新予定**

○人口 2060（令和42）年 30.0万人（シナリオ3）

## 5 計画の構成と期間

### (1) 計画の構成について

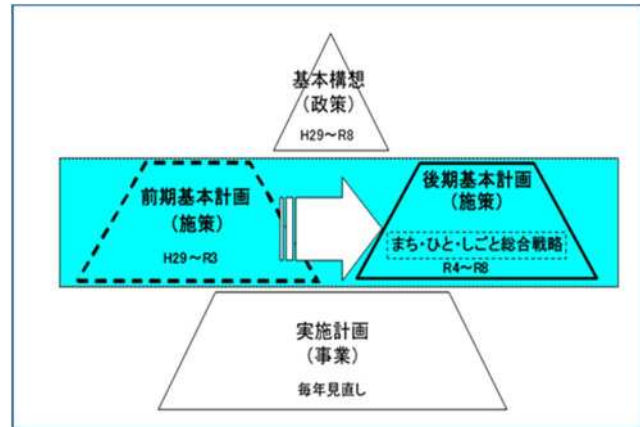
#### ①基本構想について

基本構想（平成 29 年 3 月市議会で議決）は、長期的な観点に立ち様々な情勢の変化などを見据えながら、目指すまちの将来像や目標を明らかにします。これらを実現するための施策の大綱\*を示し、令和 8（2026）年度を目標としています。

#### ②基本計画について

基本計画は、基本構想に掲げるまちの将来像や目標を実現するために必要な手段、施策を体系的に明らかにします。

なお、後期基本計画においては、長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略と統合します。



#### ③実施計画について

実施計画は、基本計画で定めた施策体系に基づく具体的な事業を示します。社会経済情勢の変化に柔軟に対応するため、毎年見直しを行います。

### (2) 計画期間

■基本構想：10年間【平成 29（2017）年度から令和 8（2026）年度まで】

■基本計画：5年間【後期は令和 4（2022）年度から令和 8（2026）年度まで】

■実施計画：1年間 (年度)

	平成29 2017	平成30 2018	令和元 2019	令和2 2020	令和3 2021	令和4 2022	令和5 2023	令和6 2024	令和7 2025	令和8 2026
基本 構想	→									
基本 計画	→					→				
実施 計画	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

## 6 計画全体に共通する取組

後期基本計画の推進にあたっては、SDGs、令和元年東日本台風災害からの復興及びSociety 5.0が計画全体に共通する取組としてベースとなり、その上に全55施策を立て、更に分野横断的に取り組む必要があるテーマを総合戦略とし、取り組んでいきます。

### (1) SDGsの推進

SDGs (Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略) とは平成 27 (2015) 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された、平成 28 (2016) 年から令和 12 (2030) 年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための 17 のゴールと、それを実現するための 169 のターゲットで構成されており、地球上の「誰一人取り残さない」と誓い、包括的な社会の実現を目指して、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むこととしています。

長野市は、SDGs の趣旨を理解し、今の市民も、未来の市民も住みよい持続可能なまちづくりに取り組むため、SDGs を推進していきます。

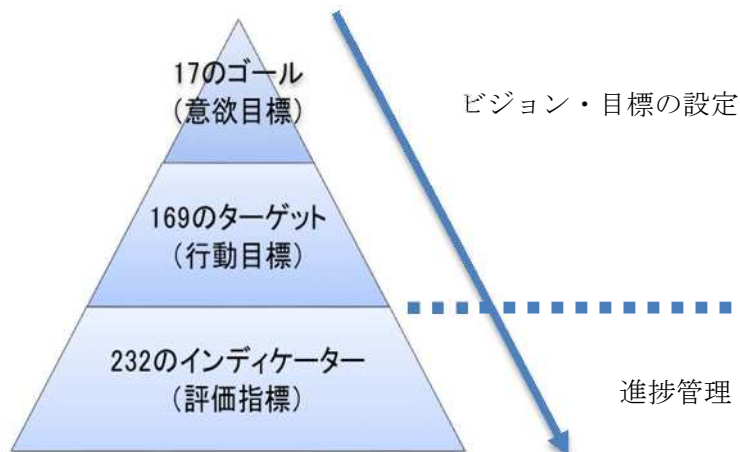
そのため、本市の最上位計画である総合計画にSDGs の視点を取り入れることで、各個別計画や各事業にもSDGs の要素を反映していきます。

なお、各施策に該当するゴールを明示するとともに、資料に後期基本計画の施策とSDGs の関連表を掲載しました。

### 【SDGs 17 のゴール】



### 【SDGs の構成】



## (2) 令和元年東日本台風災害からの復興

### ①安全・安心の再生

被災者が、安心して自立した暮らしを送ることができるよう、生活再建に向けた総合的な支援に取り組みます。さらに、被災者の悩みや課題解決のため一人ひとりに寄り添った、きめ細かな対応ができる相談体制を整備します。

また今後、様々な自然災害の発生が懸念される中、再度の被災を防止するためには、市民が安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりを進めることが喫緊の課題です。このため、国や県などの関係機関と十分に連携して治水・治山対策を進めるとともに、被災した公共施設やインフラの早期復旧と機能強化を推進します。併せて、地域や個人の防災力の向上を図ることで、今後の防災・減災に向け、ハードとソフトの両面から取組を強化します。

### ②生業（なりわい）の再生

今回の災害により、農林業や商工業などの多くの地域産業は、施設・設備などに大きな被害を受けるとともに、風評などによる間接的な被害も相まって、事業活動への支障や観光客の減少など、地域経済が甚大な影響を受けました。

このため、農林業事業者や商工業事業者に対して事業活動の再生に向け継続的な支援を行います。

### ③賑（にぎ）わいの再生

今後、人口減少や少子高齢化などにより社会情勢が変化する中、長野市への移住・定住を促進するとともに、本市を応援したり訪れたりする関係人口の増加に取り組むことも重要です。

災害からの復興は、長野市の魅力をさらに発展させていくとともに、地域資源や復興に向けて取り組む姿を全国にアピールできる機会であると考えています。

また、地域の魅力を観光に活かしていく工夫や、風評被害を払しょくする観光復興に向けた観光プロモーションの展開などによって、災害からの復興に向けた機運を高め、観光客の増加を目指します。

## (3) Society 5.0の実現

Society 5.0 とは、情報社会（Society 4.0）に続く、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会課題の解決を両立する人間中心の社会を目指すものです。日本が目指すべき未来社会の姿として「第5期科学技術基本計画」に提唱され、IoT（モノのインターネット）、ロボット、AI



(人工知能)等の先端技術をあらゆる産業や社会に取り入れ、地域課題の解決への取組が求められています。

本市においても、人口減少・少子高齢化の流れの中、平成17(2005)年・平成22(2010)年の2度の合併による市域の拡大、令和元年東日本台風災害、さらには新たな感染症の脅威を契機として、深刻化する社会課題など、めまぐるしい変化に正面から向き合い、未来に向けた新たな一歩を踏み出す転換期にきています。

そのため、本市が抱える様々な課題を効率的に解決し、生活の質も大きく向上させることができるICT(情報通信技術)やAI(人工知能)などのデジタル技術等を最大限活用して、「長野らしさ」にさらなる磨きをかけながら、迅速かつ柔軟に対応した持続可能なまちづくりが必要です。

本市は、令和3(2021)年2月の「スマートシティNAGANO宣言」に基づき、デジタル技術等をはじめとする先端技術の活用によるスマートシティを推進し、Society 5.0の実現を目指していきます。

また、デジタル技術等の活用だけでなく、人と人とのつながりや、伝統文化との触れ合いなど、各分野が持つアナログの良さを活かしていくことで、人の感覚を大切にする長野市ならではのデジタルとアナログの融合による新しい社会の構築を目指します。



【資料】内閣府 HP

## 7 分野横断テーマ（総合戦略）

後期基本計画策定の背景で示した本市が取り組むべき課題やチャレンジを踏まえ、分野別施策だけでは解決や実現が困難であり、分野横断的に取り組むことが必要な項目として3つのテーマを定め、「ひと」と「しごと」の好循環により地域社会に活力を生み、持続可能な「まち」を目指します。

この分野横断テーマを地方版総合戦略とし、その実現に向け、特に必要となる視点を「テーマ実現のための視点」として整理しています。

横断テーマ① 誰もが生き生きと安心して暮らし続けられる「まち」の実現  
＜住みやすい地域づくり＞

### 【テーマ実現のための視点】

- 「防災・減災対策の推進」  
建物の耐震化や浸水対策等の防災・減災対策を推進し、災害による被害を最小限に抑えます。
- 「暮らしを支える機能の確保」  
人口が減少していく中においても、それぞれの地域に住み続けるために福祉サービスや公共交通などの暮らしを支える機能を確保します。
- 「地域の課題解決や活性化の推進」  
地域の課題解決や活性化に繋がる、地域住民や各種団体、企業など、さまざまな主体による取組を支援します。
- 「地域資源の活用・発信」  
地域の資源を見だし活用・発信することで、資源・経済の地域内循環を促進し、地域の活力を高めます。
- 「先端技術の活用」  
デジタル技術などの先端技術を活用することで、誰もが住みやすいと実感できるまちの実現を目指します。



[数値目標]

- 長野市を住みやすいまちと感じる市民の割合：  
(令和2年度：     %)
- 災害時に被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っていると感じる市民の割合：  
(令和2年度：     %)
- 健康寿命：男性     年、女性     年  
(令和2年度：男性     年、女性     年)

横断テーマ② 「ひと」が集い、つながり、育つ、ふるさと“ながの”の実現  
<移住・定住・交流の促進><少子化対策・子育て支援>

[テーマ実現のための視点]

- 「地元定着の促進」  
若い世代のふるさと志向や長野市への愛着を高め、本市への定着を促進します。
- 「移住・定住の推進」  
地方回帰の高まりを捉え、移住に関する情報を積極的に発信し、移住希望者の受入れを推進し定住に繋がります。
- 「関係人口の創出」  
長野市への関心・興味を高め、継続的に関わる人口の創出・拡大を推進し、新しい人の流れをつくり出します。
- 「地域資源を活かした観光の推進」  
長野市の様々な地域資源を観光に結びつけ、新たな価値を創造することで、訪れたいまちづくりを推進します。
- 「広域観光・インバウンドの推進」  
北陸新幹線大阪延伸も見据え、首都圏へのアクセスの良さと、北信の玄関口としてのハブ機能を活かした広域観光・インバウンドを推進します。
- 「文化芸術・スポーツの推進」  
文化芸術・スポーツがもつ感動や喜びで、にぎわいや活力を創出します。
- 「少子化対策・子育て支援の推進」  
結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援と働きながら子育てしやすい環境づくりを進めるとともに、子どもを持ちたいという若い世代

が安心して子どもを産み育てることができるよう、個々人の希望をかなえる社会の実現を目指します。

○ 「**学びの機会の充実**」

豊かな教育環境づくりを進め、子どもの「生きる力」を育むとともに、全世代の学びの機会を充実させ、地域力の向上を目指します。

[数値目標]

■年齢階級15～64歳（生産年齢）の社会増減： 年に移動均衡

（令和2年：転出超過 人）

■観光入込客数： 人／年

（令和2年度： 人／年）

■合計特殊出生率： （令和2年度： ）

■子どもがたくましく生きていくために必要な学力・体力を身につける教育が行われていると感じる市民の割合：

（令和2年度： ）

横断テーマ③ 魅力ある「しごと」による担い手の確保と潤う地域の実現  
＜しごとの創出と確保＞

[**テーマ実現のための視点**]

○ 「**産学金官の連携による成長支援**」

創業や新製品・新技術の開発、地域特性を活かした新たな特産品づくりや販路開拓など産業の成長支援に産学金官の連携により取り組みます。

○ 「**産業集積の推進**」

地域への経済波及効果の高い産業や将来の発展が見込まれるICT関連産業などの都市型産業の誘致をはじめとする企業の立地促進に取り組み、地域経済を支える産業の集積を進めます。

○ 「**産業の担い手の育成**」

地域の産業を支える担い手の育成を進め、就労支援など「ひと」と「しごと」を結びつける事業に取り組みます。

○ 「**生産性と付加価値の向上**」

先端技術を活用することで産業の生産性や製品の付加価値の向上を図るほか、スマートシティを推進し、新しいサービスを生み出すことで地域課題の解決と新たな雇用を創出します。

○ 「多様な働き方の推進」

テレワークやワーケーションなどの多様な働き方により、地域の職の魅力の向上や働きやすさが増すことで、地域への新しい人の流れを創出します。

[数値目標]

■雇用創出人数（累計）： 人  
（平成30年度～令和2年度：平均 人）

■有効求人倍率： 倍  
（令和2年度： 倍）

■新規就農者数（累計）： 人  
（平成30年度～令和2年度：平均 人）

# 8 施策の展開

体系		基本構想	
まちの将来像	分野	政策	
幸せ実感都市『ながの』 『オールながの』で未来を創造しよう	1 行政経営の方針【行政経営分野】	1	市民が主役のまちづくりの推進
		2	将来にわたり持続可能な行財政運営の確立
	2 人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」【保健・福祉分野】	1	少子化対策、切れ目ない子ども・子育て支援
		2	生きがいのある豊かな高齢社会の形成
		3	だれもが自分らしく暮らせる社会の形成
		4	安心して暮らせる健康づくりの推進
		5	人権を尊ぶ明るい社会の形成
3 人と自然が共生するまち「ながの」【環境分野】	1	環境に負荷をかけない持続可能な社会の形成	
	2	自然と調和した心地よい暮らしづくりの推進	
4 安全で安心して暮らせるまち「ながの」【防災・安全分野】	1	災害に強いまちづくりの推進	
	2	安心して暮らせる安全社会の構築	
5 豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」【教育・文化分野】	1	未来を切り拓く人材の育成と環境の整備	
	2	豊かな人生を送るための学習機会の提供	
	3	魅力あふれる文化の創造と継承	
	4	スポーツを軸としたまちづくりの推進	
	5	国際交流・多文化共生の推進	
6 産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」【産業・経済分野】	1	魅力を活かした観光の振興	
	2	活力ある農林業の振興	
	3	特色を活かした商工業の振興	
	4	安定した就労の促進	
7 快適に暮らし活動できるコンパクトなまち「ながの」【都市整備分野】	1	いきいきと暮らせる魅力あるまちづくりの推進	
	2	拠点をつなぐネットワークの充実	

7分野

22政策

後期基本計画

分野横断テーマ(総合戦略)及びテーマ実現のための視点

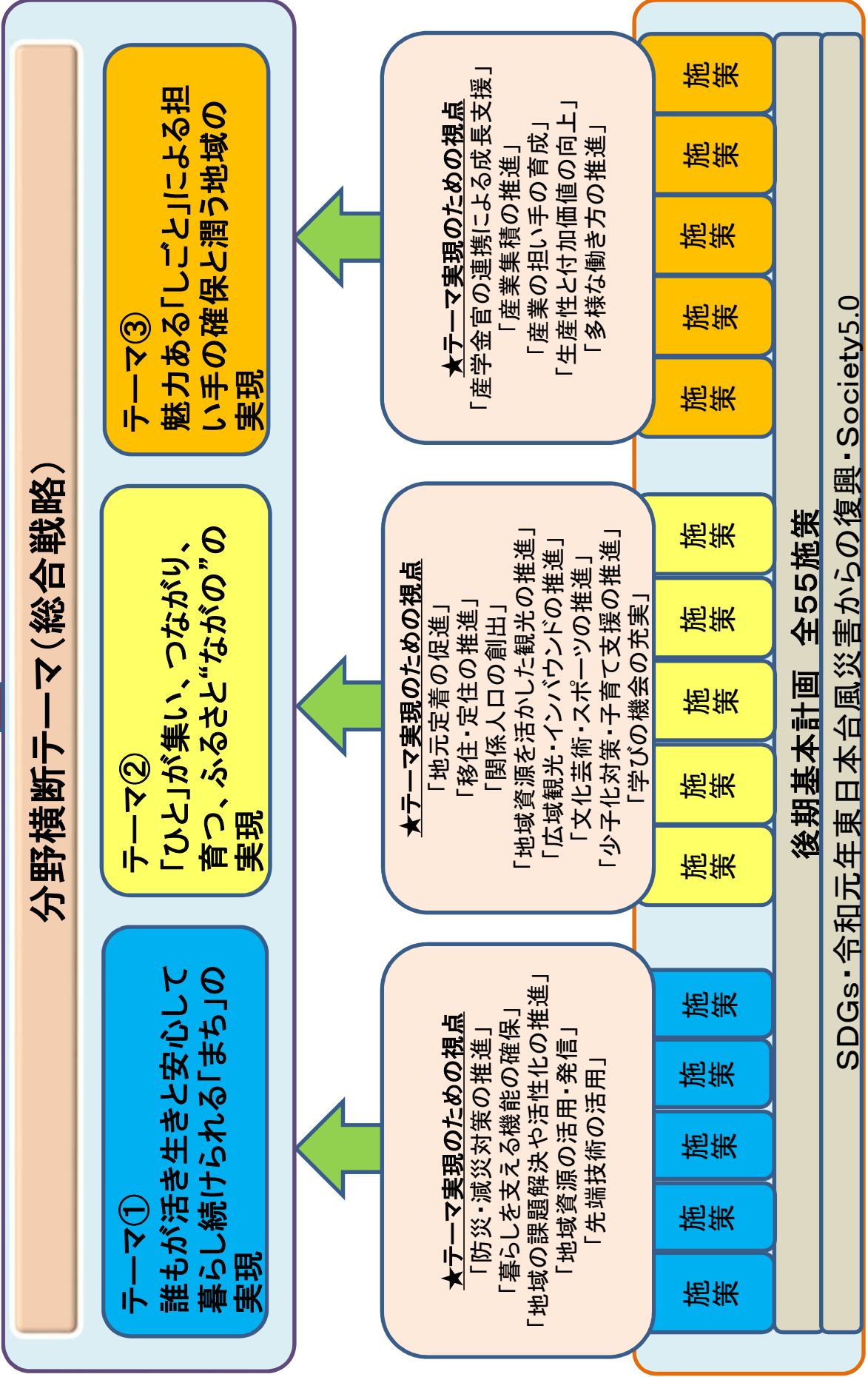
施策

施策  
番号

分野横断テーマ(総合戦略)及びテーマ実現のための視点	施策	施策 番号	
<p>テーマ① 誰もが生き生きと安心して暮らし続けられる「まち」の実現</p> <p>「住みやすい地域づくり」</p> <p>「防災・減災対策の推進」</p> <p>「地域の課題解決や活性化の推進」</p> <p>「暮らしを支える機能の確保」</p> <p>「地域資源の活用・発信」</p> <p>「先端技術の活用」</p>	1 市民とともにつくる市政の推進	1	
	2 市民によるまちづくり活動への支援	2	
	<p>テーマ② 「ひと」が集い、つながり、育つ、ふるさと「ながの」の実現</p> <p>「定住・移住・交流の促進」</p> <p>「少子化対策・子育て支援」</p> <p>「文化芸術・スポーツの推進」</p> <p>「地域資源を活かした観光の推進」</p> <p>「地元定着の促進」</p> <p>「移住の推進」</p> <p>「関係人口の創出」</p>	1 効果的で効率的な行財政運営の推進	3
		2 市民の満足が得られる市政の推進	4
		3 地方中核都市としての役割の遂行	5
	<p>テーマ③ 魅力ある「しごと」による担い手の確保と潤う地域の実現</p> <p>「しごと」の創出と確保</p> <p>「生産性と付加価値の向上」</p> <p>「多様な働き方の推進」</p> <p>「産業の成長支援」</p> <p>「産業集積の推進」</p> <p>「産業の担い手の育成」</p>	1 結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援	6
		2 子どもの成長を育む支援環境の充実	7
		3 社会的援助を必要とする家庭等の自立支援	8
		1 高齢者の社会参加と生きがいづくりの促進	9
		2 地域包括ケアシステムの深化・推進	10
		1 障害者(児)福祉の充実	11
		2 認め合い、支え合い、活かし合う地域社会の実現	12
		3 生活の安定と自立への支援	13
		1 健康の保持・増進の支援	14
		2 保健衛生の充実	15
		3 地域医療体制の充実	16
		1 人権尊重社会の実現	17
		2 男女共同参画社会の実現	18
		1 脱炭素社会の実現	19
		2 循環型社会の実現	20
		1 豊かな自然環境の保全	21
		2 良好で快適な環境の保全と創造	22
		1 防災・減災対策の推進	23
		2 消防力の充実・強化及び火災予防	24
		1 交通安全対策の推進	25
		2 防犯対策の推進	26
		3 安全な消費生活の確保	27
		1 乳幼児期から高等教育までの教育の充実	28
		2 子どもに応じた支援の充実	29
		3 家庭・地域・学校の相互連携による教育力向上	30
		1 生涯学習環境の充実	31
		2 学習成果を活かした地域づくりへの参加促進	32
		1 多彩な文化芸術の創造と活動支援	33
		2 文化の継承による魅力ある地域づくりの推進	34
		1 だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進	35
		2 スポーツを通じた交流拡大の推進	36
		1 国際交流活動の推進	37
		2 多文化共生の推進	38
		1 豊富な観光資源等を活かした観光交流促進	39
		2 インバウンドの推進	40
		3 コンベンションの誘致推進	41
		1 多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進	42
		2 地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進	43
		3 森林の保全と資源の活用促進	44
		1 商工業の強化と環境整備の促進	45
		2 地域の特性が光る商工業の推進	46
		3 新たな活力につながる産業の創出	47
		1 就労の促進と多様な働き方の支援	48
		2 勤労者福祉の推進	49
		1 地域の特性に応じた都市機能の充実	50
		2 暮らしを支える生活機能の維持	51
		3 多世代のだれもが暮らしやすいまちづくりの推進	52
		4 地域の特徴を活かした景観の形成	53
		1 地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築	54
2 拠点をつなぐ交通ネットワークの整備		55	

まちの将来像

幸せ実感都市『ながの』の実現



後期基本計画の施策と分野横断テーマ(総合戦略)の関連表

分野横断テーマ			1 まち ＜住みやすい地域づくり＞	2 ひと ＜移住・定住・交流の促進＞ ＜少子化対策・子育て支援＞	3 しごと ＜しごとの創出と確保＞
テーマ実現のための視点			<ul style="list-style-type: none"> <li>防災・減災対策の推進</li> <li>暮らしを支える機能の確保</li> <li>地域の課題解決や活性化の推進</li> <li>地域資源の活用・発信</li> <li>先端技術の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元定着の促進</li> <li>移住・定住の推進</li> <li>関係人口の創出</li> <li>地域資源を活かした観光の推進</li> <li>広域観光・インバウンドの推進</li> <li>文化芸術・スポーツの推進</li> <li>少子化対策・子育て支援の推進</li> <li>学びの機会の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携による成長支援</li> <li>産業集積の推進</li> <li>産業の担い手の育成</li> <li>生産性と付加価値の向上</li> <li>多様な働き方の推進</li> </ul>
分野	政策名	施策名			
経済	行政経営	市民が主役のまちづくりの推進			
		1-1-1 市民とともに作る市政の推進	広報広聴課	○	
		1-1-2 市民によるまちづくり活動の支援	地域活動支援課	○	○
		将来にわたり持続可能な行政運営の確立			
		1-2-1 効果的で効率的な行政運営の推進	行政管理局	○	
		1-2-2 市民の満足が得られる市政の推進	行政管理局	○	
		1-2-3 地方中核都市としての役割の遂行	企画課	○	
		少子化対策・切れ目ない子育て支援			
		2-1-1 結婚・妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援	こども政策課	○	○
		2-1-2 子どもの成長を育む支援環境の充実	保育・幼稚園課	○	○
2-1-3 社会的援助を必要とする家庭等の自立支援	子育て支援課	○	○		
社会	保健・福祉	生きがいのある豊かな高齢社会の形成			
		2-2-1 高齢者の社会参加と生きがいづくりの促進	高齢者活躍支援課	○	○
		2-2-2 地域包括ケアシステムの深化・推進	地域包括ケア推進課	○	
		だれもが自分らしく暮らせる社会の形成			
		2-3-1 障害者(児)福祉の充実	障害福祉課	○	○
		2-3-2 認め合い、支え合い、活かす地域社会の実現	福祉政策課	○	
		2-3-3 生活の安定と自立支援	生活支援課	○	○
		安心して暮らせる健康づくりの推進			
		2-4-1 健康の保持・増進の支援	健康課	○	○
		2-4-2 保健衛生の充実	健康課	○	
2-4-3 地域医療体制の充実	医療連携推進課	○			
環境	環境	人権を尊ぶ明るい社会の形成			
		2-5-1 人権尊重社会の実現	人権・男女共同参画課	○	○
		2-5-2 男女共同参画社会の実現	人権・男女共同参画課	○	○
		環境に負荷をかけない持続可能な社会の形成			
		3-1-1 脱炭素社会の実現	環境保全温暖化対策課	○	○
		3-1-2 循環型社会の実現	生活環境課	○	
		自然と調和した心地よい暮らしづくりの推進			
		3-2-1 豊かな自然環境の保全	環境保全温暖化対策課	○	○
		3-2-2 良好で快適な環境の保全と創造	生活環境課	○	
		社会	防災・安全	災害に強いまちづくりの推進	
4-1-1 防災・減災対策の推進	危機管理防災課			○	
4-1-2 消防力の充実・強化及び火災予防	消・総務課			○	
安心して暮らせる安全社会の構築					
4-2-1 交通安全対策の推進	地域活動支援課			○	○
4-2-2 防犯対策の推進	地域活動支援課			○	
4-2-3 安全な消費生活の確保	市民窓口課			○	○
未来を切り拓く人材の育成と環境の整備					
5-1-1 幼児教育から高等教育までの充実	学校教育課			○	○
5-1-2 子どもに応じた支援の充実	学校教育課			○	○
5-1-3 家庭・地域・学校が相互に連携した教育力向上	家庭・地域学びの課	○	○		
社会	教育・文化	豊かな人生を送るための学習機会の提供			
		5-2-1 生涯学習環境の充実	家庭・地域学びの課	○	○
		5-2-2 学習成果を活かした地域づくりへの参加促進	家庭・地域学びの課	○	○
		魅力あふれる文化の創造と継承			
		5-3-1 多彩な文化芸術の創造と活動支援	文化芸術課	○	○
		5-3-2 文化の継承による魅力ある地域づくりの推進	文化財課	○	○
		スポーツを軸としたまちづくりの推進			
		5-4-1 だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進	スポーツ課	○	○
		5-4-2 スポーツを通じた交流の拡大の推進	スポーツ課	○	○
		国際交流・多文化共生の推進			
5-5-1 国際交流活動の推進	観光振興課	○	○		
5-5-2 多文化共生の推進	観光振興課	○			
経済	産業・経済	魅力を活かした観光の振興			
		6-1-1 豊富な観光資源等を活かした観光交流の促進	観光振興課	○	○
		6-1-2 インバウンドの推進	観光振興課	○	○
		6-1-3 コンベンションの誘致推進	観光振興課	○	○
		活力ある農林業の振興			
		6-2-1 多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進	農業政策課	○	○
		6-2-2 地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進	農業政策課	○	○
		6-2-3 森林の保全と資源の活用促進	森林農地整備課	○	○
		特色を活かした商工業の振興			
		6-3-1 商工業の強化と環境整備の促進	商工労働課	○	○
6-3-2 地域の特性が光る商工業の推進	商工労働課	○	○		
6-3-3 新たな活力につながる産業の創出促進	商工労働課	○	○		
安定した就労の促進					
6-4-1 就労の促進と多様な働き方の支援	商工労働課	○	○		
6-4-2 勤労者福祉の推進	商工労働課	○	○		
経済	都市整備	いきいきと暮らせる魅力あるまちづくりの推進			
		7-1-1 地域の特性に応じた都市機能の充実	都市政策課	○	
		7-1-2 暮らしを支える生活機能の維持	道路課	○	
		7-1-3 多世代のだれもが暮らしやすいまちづくりの推進	建築指導課	○	○
		7-1-4 地域の特色を活かした景観の形成	都市政策課	○	
		拠点をつなぐネットワークの充実			
7-2-1 地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築	交通政策課	○			
7-2-2 拠点をつなぐ交通ネットワークの整備	交通政策課	○			



## **分野1** 行政経営の方針(行政経営分野)

### **政策1** 市民が主役のまちづくりの推進

**施策1** 市民とともにつくる市政の推進

**施策2** 市民によるまちづくり活動への支援

### **政策2** 将来にわたり持続可能な行財政運営の確立

**施策1** 効果的で効率的な行財政運営の推進

**施策2** 市民の満足が得られる市政の推進

**施策3** 地方中核都市としての役割の遂行



# 分野 1

## 政策 1 市民が主役のまちづくりの推進

【担当部局】 企画政策部、地域・市民生活部、総務部

### 施策 1 市民とともに作る市政の推進 【広報広聴課】

【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダ	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○										○

#### 現況と課題

- 価値観や生活様式の変化・多様化に伴い、行政サービスに対する市民ニーズも複雑・多様化している中、分かりやすく市政情報を提供するとともに、市民の意見を十分に生かしながら市政を推進する必要があります。

#### 図表

- 「市民の声が市政に反映されている」と思う市民の割合の推移（企画課）

#### 目指す状態

◎ 市政情報を迅速に分かりやすく提供するとともに、多くの市民意見を市政に活用している。

#### 主な取組

- ◎ 市民が市政に参加できる機会を充実します。（行政管理課、広報広聴課）
- ◎ あらゆる機会を通じて市民ニーズを把握します。（広報広聴課）
- ◎ 様々な手段・媒体を有効に活用して市政情報を提供するとともに、市政への理解を深める取組を進めます。（広報広聴課）
- ◎ 個人情報を適切に管理し個人の権利利益を保護するとともに、市政情報を積極的かつ迅速に公開し市政の透明性を確保します。（庶務課）

#### アンケート指標（市民が思う割合）

● 環境や体制に関する評価 ○ 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
● 市民の声が市政に反映されている ○ 地域づくりに関するアイデアを市役所や自治会などに寄せている		

#### 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
● 審議会等の公募委員の応募倍率	審議会等委員の公募人数に対する応募者数の比率（直近2年間の平均）		
● パブリックコメント* 1件当たりに寄せられた意見数	パブリックコメント1件当たりに寄せられた意見数（直近5年間の平均）		

#### 個別計画

第七次長野市行政改革大綱

## 施策2 市民によるまちづくり活動への支援 【地域活動支援課】

【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○									○	○

### 現況と課題

- 市内全地区において、住民自治協議会\*を中心に市民によるまちづくりが実践されています。地域における課題が複雑・多様化している中、行政、市民、地域コミュニティ組織、市民公益活動団体、民間企業など多様な主体による協働のまちづくりを推進する必要があります。

#### 図表

- 市民公益活動団体等との協働事業数の推移  
(地域活動支援課)

### 目指す状態

- ◎行政、市民、地域コミュニティ組織、市民公益活動団体、民間企業など多様な主体による協働のまちづくりが、暮らしやすい地域社会につながっている。

### 主な取組

- ◎地域の特性や資源を有効に活用し、住民とともに地域の魅力向上に取り組みます。(地域活動支援課)
- ◎住民自治協議会などの地域コミュニティ組織の運営と活動を積極的に支援し、住民自治を推進します。(地域活動支援課、家庭・地域学びの課)
- ◎市民公益活動団体間の連携など、様々な主体の協働を推進するとともに、市民ニーズに応じた市民公益活動団体等の活動を支援します。(地域活動支援課)
- ◎住民自治や市民公益活動等に関して啓発し、市民の自治意識や市民主体のまちづくりに関する意識を高めます。(地域活動支援課)
- ◎地域を支える人材の育成と確保に取り組みます。(地域活動支援課、家庭・地域学びの課)

### アンケート指標 (市民が思う割合)

●環境や体制に関する評価 ○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●住民自治協議会、区、自治会、NPO*法人などの活動がまちづくりに役立っている ○ <u>まちづくりに関わるボランティア活動(住民自治協議会や区なども含む)に参加している</u>		

### 統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
● <u>地区まちづくり計画または地区地域福祉活動計画に基づく活動に取り組んでいる地区数</u>	<u>地区まちづくり計画または地区地域福祉活動計画に基づく活動に取り組んでいる地区数</u>		

### 個別計画

長野市都市内分権基本方針、協働推進のための基本方針、第七次長野市行政改革大綱

# 分野 1

## 行政経営の方針（行政経営分野）

### 政策 2 将来にわたり持続可能な行財政運営の確立

【担当部局】 総務部、財政部、企画政策部

#### 施策 1 効果的で効率的な行財政運営の推進 【行政管理課】

【SDGs 関連】

社会						環境					経済				全体	
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○								○		○

#### 現況と課題

- 人口減少・少子高齢化が進行する状況において、社会保障関係経費の増加、喫緊の課題解決に向けた対応など、一段と厳しい財政運営が予想される中、「選択と集中」や「地域資源・民間活力の活用」などにより効果的で効率的な行財政運営に取り組み、安定的な行政サービスを持続して提供していく必要があります。
- 公共施設については、多くの施設が老朽化し、改修や更新費用の増大などが見込まれることから、公共施設マネジメント指針で示した今後 20 年間で延床面積を 2 割削減する目標を見据え、「量」と「質」の両面から計画的な見直しが必要です。

#### 図表

- 社会保障関係経費（扶助費・繰出金）の推移（財政課）

#### 図表

- 公共施設（建築物）の将来の改修・更新費用の推計（公共施設マネジメント推進課）

#### 目指す状態

◎安定的な行政サービスが提供される持続可能な財政基盤が構築されている。

#### 主な取組

- ◎社会・経済情勢の動向に応じて、限られた行政経営資源を最適に配分し、最少の経費で最大の効果が得られる行政サービスの提供に取り組みます。また、デジタル技術の活用などにより業務を効率化するとともに、PDCAサイクル\*により継続的に行財政運営を改善します。（財政課、行政管理課、情報政策課、検査課）
- ◎保有する公共施設の総量縮減や長寿命化を進め、適切に維持・管理します。（公共施設マネジメント推進課）
- ◎資産や負債の正確な把握と適切な管理に基づいた、分かりやすい財務情報の開示に取り組みます。（財政課、管財課、会計課）
- ◎市税などを適正に賦課し、徴収率の向上に取り組み、使用料・手数料などは利用者負担の適正化を推進します。（市民税課、資産税課、収納課、行政管理課）
- ◎市税や使用料・手数料収入のほか、様々な手法による自主財源を確保します。（財政課、管財課）
- ◎民間の資金、技術的能力、経営能力などを積極的に活用します。（行政管理課、公共施設マネジメント推進課）

**アンケート指標（市民が思う割合）**

●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●効果的で効率的な行政運営が行われている ○（設定なし）		

**統計指標（統計による指数）**

指標名	内容	現状値	目標
●実質公債費比率*	財政規模に対する公債費の割合 財政規模に対する確定している負債の割合		
●将来負担比率*			

**個別計画**第七次長野市行政改革大綱、長野市公共施設等総合管理計画

## 施策2 市民の満足が得られる市政の推進 【行政管理課】

【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○								○		○

### 現況と課題

- 国におけるデジタル化の動きを念頭に置き、複雑・多様化する市民ニーズを踏まえた質の高い行政サービスを提供していくために、成果を重視した行政運営の推進とともに、次世代の社会の姿を見据えた ICT\*の利活用及び職員の能力向上、効率的な職員配置、組織づくりが必要です。

#### 図表

- 「今後、生活などに必要だと思われる情報通信技術を活用した便利な仕組み」についての市民意識  
R2年度市民アンケート調査（情報政策課）

### 目指す状態

- ◎ デジタル技術等を用い、市民ニーズを踏まえた質の高い行政サービスを提供している。

### 主な取組

- ◎ 成果を重視した計画的な行政運営に取り組みます。（行政管理課、企画課）
- ◎ 行政手続のデジタル化や各種手続の簡素化を進めます。（情報政策課、庶務課、行政管理課）
- ◎ 官民連携により、AI\*やデジタルなどの先端技術を活用した地域課題の解決に取り組みます。（企画課、情報政策課）
- ◎ 人事評価制度\*、各種研修、自発的な能力開発の支援や職員提案制度\*などを通じ、職員の職務に対する意欲と能力を高めます。（職員課、職員研修所、行政管理課）
- ◎ 職員の適正配置と市民ニーズに的確かつ柔軟に対応した組織づくりに取り組みます。（職員課）

### アンケート指標（市民が思う割合）

● 環境や体制に関する評価 ○ 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民のニーズを踏まえた行政運営が行われている</li> <li>● 市の職員に好感が持てる</li> <li>○（設定なし）</li> </ul>		

### 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
● オンライン化可能な申請、届出、予約手続のオンライン化実施率	オンライン化可能な申請、届出、予約手続のオンライン化実施率		
● オンライン化済の申請、届出、予約手続のオンライン利用率	<u>令和元年度</u> までにオンライン化済の申請、届出、予約手続のオンライン利用率		

### 個別計画

第七次長野市行政改革大綱、第五次長野市高度情報化基本計画

### 施策3 地方中核都市としての役割の遂行 【企画課】

#### 【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダ	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○								○		○

#### 現況と課題

- 地方中核都市として、近隣市町村等との連携や中核市相互の連携を強化し、人口減少対策や経済基盤の強化に取り組むことで連携する市町村全体の発展を見据え、持続可能な地域づくりを目指す必要があります。

#### 図表

- 近隣8市町村の人口（企画課）

#### 目指す状態

- ◎地方公共団体間の連携を有効に活用し、連携する市町村全体が発展している。

#### 主な取組

- ◎連携中枢都市圏構想\*など地方公共団体間の連携を推進し、連携する市町村全体の発展につなげます。（企画課）
- ◎長野広域連合\*において、ごみの焼却施設・最終処分場の設置管理などの事務を共同処理することで、効率的な行政サービスを提供します。（企画課）
- ◎中核市等との連携を強化し、共同研究や情報共有の成果を行財政運営に生かします。（企画課）

#### アンケート指標（市民が思う割合）

●環境や体制に関する評価 ○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●長野市は近隣市町村と連携し、広域的に発展に向けて取り組んでいる ○（設定なし）		

#### 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
●長野地域の定住人口	長野県毎月人口異動調査における、6月1日現在の長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、小川村、飯綱町の人口の合計		

#### 個別計画

第二期長野地域連携中枢都市圏ビジョン



## 分野2 人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」(保健・福祉分野)

### 政策1 少子化対策、切れ目ない子ども・子育て支援

施策1 結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援

施策2 子どもの成長を育む支援環境の充実

施策3 社会的援助を必要とする家庭等の自立支援

### 政策2 生きがいのある豊かな高齢社会の形成

施策1 高齢者の社会参加と生きがいづくりの促進

施策2 地域包括ケアシステムの深化・推進

### 政策3 だれもが自分らしく暮らせる社会の形成

施策1 障害者(児)福祉の充実

施策2 認め合い、支え合い、活かし合う地域社会の実現

施策3 生活の安定と自立への支援

### 政策4 安心して暮らせる健康づくりの推進

施策1 健康の保持・増進の支援

施策2 保健衛生の充実

施策3 地域医療体制の充実

### 政策5 人権を尊ぶ明るい社会の形成

施策1 人権尊重社会の実現

施策2 男女共同参画社会の実現

## 分野 2

人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」(保健・福祉分野)

### 政策 1 少子化対策、切れ目ない子ども・子育て支援

【担当部局】 こども未来部、保健福祉部

#### 施策 1 結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援 【こども政策課】

【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
		○		○		○										○

#### 現況と課題

- 若い世代の未婚化や晩婚化が進行とともに、母親の就業意欲の高まりによる仕事と子育ての両立への課題、子育てへの不安や負担感があることから、更なる結婚支援の充実や男性の子育てへの参画促進など、社会全体で結婚、妊娠・出産、子育てを大切にし、切れ目なく支援する必要があります。

#### 図表

- 出生数と合計特殊出生率の推移 (企画課)

#### 図表

- 未婚率の推移 (企画課 国勢調査)

#### 図表

- こども相談室における相談件数の推移 (子育て支援課)

#### 目指す状態

- ◎若い世代が結婚や妊娠・出産についての希望をかなえ、子育てに楽しさや喜びを感じながら、温かい社会の中で安心して子どもを育てている。

#### 主な取組

- ◎若い世代に対する結婚支援を推進します。(人口増推進課)
- ◎細やかな情報提供と相談支援などを通じて、妊娠・出産から子育てまでを切れ目なく支援します。(子育て支援課、保育・幼稚園課、健康課)
- ◎ワーク・ライフ・バランスへの職場の理解や男性の育児参画を促進するとともに、仕事と子育ての両立を支援します。(保育・幼稚園課、こども政策課、子育て支援課、人権・男女共同参画課、商工労働課) (2-5-2、6-4-1 関連)
- ◎地域ぐるみで多様な主体が、子育て・子育てを支援する取組を促進します。(保育・幼稚園課、こども政策課、福祉政策課) (5-1-3 関連)
- ◎子育て中の家庭における経済的な負担の軽減に取り組みます。(子育て支援課、保育・幼稚園課、福祉政策課)



**アンケート指標（市民が思う割合）**

●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●子どもを産み育てやすい地域である	%	
○子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている	%	

**統計指標（統計による指数）**

指標名	内容	現状値	目標
●合計特殊出生率（年）	一人の女性が生涯に産む子どもの数		

**個別計画**第二期長野市子ども・子育て支援事業計画

## 施策2 子どもの成長を育む支援環境の充実 【保育・幼稚園課】

### 【SDGs 関連】

社会							環境				経済				全体	
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
			○			○										

### 現況と課題

- 乳幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎をつちかうとともに、「学びの入口」としても重要であることから、家庭、地域、幼稚園・保育所・認定こども園\*が、教育・保育に対する共通の認識を持ち連携しながら、子ども一人ひとりの健やかな育ちを支えていく必要があります。

#### 図表

- 子どもの頃の体験と大人になってからの意欲・関心等との関係（平成21年）を表すもの

### 目指す状態

- ◎乳幼児期の子どもが、安心感や人への信頼感を土台にして健やかに育ち、その後の発達・成長の基礎となる力を着実に育んでいる。

### 主な取組

- ◎幼稚園・保育所・認定こども園における、子育てを支える教育・保育の質や職員の力量の向上に取り組みます。（保育・幼稚園課）（5-1-1 関連）
- ◎幼稚園・保育所・認定こども園における、防災や交通安全対策を推進します。（保育・幼稚園課）
- ◎幼稚園・保育所・認定こども園の連携に取り組むとともに、小学校との連携を推進します。（保育・幼稚園課、学校教育課）（5-1-1 関連）
- ◎需要の見込みに応じ、乳幼児期の教育・保育を適正に提供する体制を確保します。（保育・幼稚園課）
- ◎子どもの健やかな成長を育む家庭環境づくりを支援します。（子育て支援課、健康課、保育・幼稚園課、家庭・地域学びの課）（5-1-3 関連）

### アンケート指標（市民が思う割合）

●環境や体制に関する評価 ○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育が充実している	%	
○〔再掲：子育てしている家庭を温かく見守り、必要な時には手助けしている〕	%	

**統計指標（統計による指数）**

指標名	内容	現状値	目標
● <u>保育所の福祉サービス第三者評価受審率</u>	<u>保育所数に占める福祉サービス第三者評価を受審した保育所の割合</u>	%	%
● 家庭で日頃、子どもに絵本の読み聞かせをしている保護者の割合	市内の幼稚園・保育所・認定こども園に通園している子どもの保護者の状況	% (R)	%

**個別計画**

第二期長野市子ども・子育て支援事業計画、長野市乳幼児期の教育・保育の指針

### 施策3 社会的援助を必要とする家庭等の自立支援 【子育て支援課】

【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
○				○	○	○						○				○

#### 現況と課題

- 子育てに関わる保護者等からの悩みなどの相談に応じて適切な支援につなげるほか、厳しい社会・経済状況の中、ひとり親家庭などで就労・就学が困難な状況に置かれている人に対し、経済的な自立に向けた支援とともに、経済的に厳しい状況が次世代に連鎖しないよう支援する必要があります。

**図表**  
● 母子・父子相談件数の推移（子育て支援課）

#### 目指す状態

- ◎ 子育てに関わる保護者等が悩みを抱え込むことなく相談につなげられ、すべての子どもが安定した環境の中、地域に見守られながら、安心して暮らしている。

#### 主な取組

- ◎ 子育て世帯の生活状況を把握するとともに、社会的援助を必要とする家庭の子どもに対する生活・学習への支援や、保護者に対する相談支援・経済的支援を推進します。（子育て支援課、生活支援課、教育委員会総務課）（5-1-2 関連）
- ◎ 子どもの育ちに悩みや不安を抱える保護者への相談支援に取り組みます。（子育て支援課、健康課、保育・幼稚園課、学校教育課）
- ◎ 児童虐待を未然に防ぐとともに、早期発見・早期対応に向けた取組を推進します。（子育て支援課、健康課）

#### アンケート指標（市民が思う割合）

● 環境や体制に関する評価 ○ 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
● 子育て中の保護者が悩みを抱えた時に相談できる体制が整っている ○（設定なし）	%	

#### 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
● 高等職業訓練促進給付金事業*による就業率	高等職業訓練促進給付金を受給し養成機関を修了した者に占める就業者の割合  注：現状値の括弧内は、修了者と就業者の人数を示す。（就業者／修了者）	% ( 人 / 人 )	%

#### 個別計画

第二期長野市子ども・子育て支援事業計画

# 分野2 人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」(保健・福祉分野)

## 政策2 生きがいのある豊かな高齢社会の形成

【担当部局】 保健福祉部

### 施策1 高齢者の社会参加と生きがいつくりの促進 【高齢者活躍支援課】

【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
		○				○						○				○

#### 現況と課題

- 学びやボランティア活動、就労などを通じて、高齢者の社会参加や生きがいつくりに取り組んでいます。 更なる少子・高齢化の進行に伴い、高齢者が自らの経験や能力を活かし活躍することがより一層求められることから、高齢者がこれまで以上に地域社会の担い手として活躍することを促す必要があります。

#### 図表

- 就業者に占める 60 歳以上の市民の割合の推移 (企画課 国勢調査: R2 年度)

#### 図表

- 社会参加している 60 歳以上の市民の割合の推移

#### 目指す状態

- ◎ 高齢者が自らの経験や能力を活かして積極的に社会に参加し、様々な場面で生きがいを感じながらいきいきと暮らしている。

#### 主な取組

- ◎ 高齢者の地域などでの社会活動を支援します。( 高齢者活躍支援課、家庭・地域学びの課)
- ◎ 高齢者の就労を支援します。(商工労働課) (6-4-1 関連)

#### アンケート指標 (市民が思う割合)

● 環境や体制に関する評価 ○ 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
● 高齢者がボランティアや学習活動など、社会と関わる活動をしやすい環境が整っている ○ (設定なし)	%	

#### 統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
● 社会参加している 60 歳以上の市民の割合	「就労(仕事に就き、その対価を得ている)」「ボランティア」「興味関心のある活動」等、社会と関わる活動をしている 60 歳以上の市民の割合	% (R)	%

#### 個別計画

第九次長野市高齢者福祉計画・第八期長野市介護保険事業計画

## 施策2 地域包括ケアシステムの深化・推進 【地域包括ケア推進課】

### 【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体	
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段	
		○				○											○

### 現況と課題

- 高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を続けるために、医療、介護、**保健・介護**予防、住まい、生活支援を切れ目なく提供する地域包括ケアシステムを実現する必要があります。

#### 図表

- 「介護が必要になった場合の生活の場の希望」についての市民意識  
(高齢者活躍支援課 高齢者等実態調査)

#### 図表

- 「自宅で介護サービスを利用したい理由」についての市民意識  
(高齢者活躍支援課 高齢者等実態調査)

### 目指す状態

- ◎ 高齢者が自ら介護予防・**健康維持**の取組を実践するとともに、介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域の中で、**必要な介護を受けながら最期まで自分らしく**安心して暮らしている。

### 主な取組

- ◎ 介護予防を推進するとともに、医療、介護、住まい、福祉サービスなどを包括的・継続的に提供する体制を確立します。**(地域包括ケア推進課、介護保険課、健康課、高齢者活躍支援課、住宅課、国民健康保険課)**
- ◎ 認知症の早期発見・早期対応や、認知症高齢者とその家族を地域で支える取組を促進します。**(地域包括ケア推進課、福祉政策課)**
- ◎ 要介護高齢者に対する介護保険サービス基盤の整備を促進します。**(介護保険課・高齢者活躍支援課)**

### アンケート指標 (市民が思う割合)

● 環境や体制に関する評価 ○ 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
● 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている	%	
○ ご近所の高齢者を温かく見守り、必要な時には手助けしている	%	

### 統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
● 要介護状態ではない高齢者の割合	高齢者 (65 歳以上) のうち、要介護認定 (要介護 1～5) を受けていない人の割合	%	%

### 個別計画

第**九**次長野市高齢者福祉計画・第**八**期長野市介護保険事業計画

## 分野 2

人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」（保健・福祉分野）

### 政策 3 だれもが自分らしく暮らせる社会の形成

【担当部局】 保健福祉部

#### 施策 1 障害者（児）福祉の充実 【障害福祉課】

【SDGs 関連】

社会							環境				経済				全体	
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダ	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
																
			○		○	○						○		○		○

#### 現況と課題

- 障害福祉サービスに対する需要が年々増加するとともに多岐にわたっていることから、障害のある人の状況や要望等を的確に把握し、必要な支援が適切に提供できる体制の確保が必要となります。
- 障害に対する理解を促進し、障害者差別の解消や合理的配慮の提供に向けた取組を進める必要があります。

#### 図表

- 障害福祉サービスにおける計画相談支援事業の利用者数の推移（障害福祉課）

#### 目指す状態

◎ 障害の有無によって分け隔てられることなく、だれもが自分らしく安心して暮らしている。

#### 主な取組

- ◎ 地域共生社会の実現を目指して、障害に対する理解を深め、障害者の権利を擁護する取組を推進します。（障害福祉課、人権・男女共同参画課）（7-1-3 関連）
- ◎ 障害者自らの意思決定に基づき、安心して生活を送るためのくらしの場・障害福祉サービス基盤を整備します。（障害福祉課）
- ◎ 障害のある人の就労支援、スポーツ、文化芸術活動等の社会参加を促進します。（障害福祉課、商工労働課、農業政策課、スポーツ課）（5-4-1、6-2-2、6-4-1 関連）
- ◎ 発達障害等の特性を有する児童生徒に対する支援や多様な教育・保育ニーズに応じた取組を充実します。（障害福祉課、健康課、子育て支援課、保育・幼稚園課、学校教育課）（5-1-2 関連）

**アンケート指標（市民が思う割合）**

●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●障害のある人が安心して暮らせるサービスや環境が整っている	%	
○障害のある人を見かけた時に、手助けが必要か気にかけるようにしている	%	

**統計指標（統計による指数）**

指標名	内容	現状値	目標
●一般企業の障害者雇用率（年）	企業が雇用する常用労働者数に占める障害者の割合	%	%

**個別計画**

第二次長野市障害者基本計画、第六期長野市障害福祉計画



## 施策2 認め合い、支え合い、活かし合う地域社会の実現 【福祉政策課】

### 【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
		○				○								○		○

### 現況と課題

- 単独世帯の増加などにより、家族や地域住民相互のつながりが希薄化する中で、社会的孤立等地域における課題に加え、高齢化や生活困窮などの課題が複合的に生じている世帯が増えていることから、行政・住民・関係機関等が連携して解決に取り組むことが必要です。

#### 図表

- 地域や隣近所でお互いに支え合い助け合う関係が築かれている（平成28年）  
（広報広聴課 まちづくりアンケート）

### 目指す状態

- ◎ 市民一人ひとりが、地域の中で互いに認め合い、支え合い、活かし合いながら、安心して自分らしくいきいきと暮らしている。

### 主な取組

- ◎ 地域福祉を推進するための啓発を進め、担い手の創出などの基盤づくりを促進します。（福祉政策課）
- ◎ 地域福祉を推進する実施主体間のネットワークづくりを促進します。（福祉政策課）
- ◎ 身近な地域での見守り・支え合いを促進します。（福祉政策課、地域包括ケア推進課）

### アンケート指標（市民が思う割合）

- 環境や体制に関する評価 ○ 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
● ご近所において、支え合い、助け合える人間関係が築かれている	%	
○ ご近所同士で交流をし、困った時にお互いに助け合える関係を築こうとしている	%	

### 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
● 地区地域福祉活動計画の評価に取り組んでいる地区数	地区地域福祉活動計画の進捗状況の把握や計画の検証・見直しに取り組んでいる地区数	地区	地区

### 個別計画

#### 第四次長野市地域福祉計画

### 施策3 生活の安定と自立への支援 【生活支援課】

#### 【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
○					○	○										○

#### 現況と課題

- 近年の雇用状況の変化に伴い、既存の社会保険制度・労働保険制度や最終的なセーフティネット\*である生活保護制度だけでは、市民の安定した生活を支えきれなくなっていることから、生活に困っている人が自立した生活を送れるように支援する「第2のセーフティネット（生活困窮者自立支援制度）」を充実する必要があります。

#### 図表

- 3段階のセーフティネット（イメージ）（生活支援課）

#### 図表

- 世帯の年間収入が200万円未満である世帯の割合と雇用形態別雇用者数の推移  
(企画課 就業構造基本調査)

#### 目指す状態

- ◎だれもが幾重にもはりめぐらされたセーフティネットに守られ、その状況に応じて可能な限り自立し、困窮することなく安定した生活を送っている。

#### 主な取組

- ◎生活困窮世帯や生活保護世帯に対して就労を支援します。（生活支援課）
- ◎世帯の実情に即した生活保護の適正な運用に取り組みます。（生活支援課）

#### アンケート指標（市民が思う割合）

●環境や体制に関する評価 ○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●生活に困った時に相談できる体制が整っている ○（設定なし）	%	

#### 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
●「まいさぽ長野市*」の支援により就労した人の割合	「まいさぽ長野市」の利用者における、就労支援を必要とする人のうち、支援により実際に就労した人の割合	%	%

# 分野2 人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」(保健・福祉分野)

## 政策4 安心して暮らせる健康づくりの推進

【担当部局】 保健福祉部

### 施策1 健康の保持・増進の支援 【健康課】

【SDGs 関連】

社会							環境				経済				全体	
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
	○	○				○										○

#### 現況と課題

- 少子高齢化が急速に進む中、人生 100 年時代を見据え、生き生きと健康で自立した生活を送り続けることが重要であることから、一人ひとりが健康意識を高め、生涯を通じて主体的に健康づくりに取り組むことが必要です。
- 30 年以上にわたり、市民の死因の第 1 位はがん（悪性新生物）であることから、がんの予防と早期発見・早期治療を併せて推進することが必要です。

#### 図表

- 平均寿命と健康寿命（平均自立期間）の推移（健康課）

#### 図表

- 主な死因別死亡率（10 万人当たり）の推移（健康課）

#### 図表

- がんの部位別死亡者数の推移（健康課）

#### 目指す状態

◎ 市民一人ひとりが健康の大切さを認識し、生涯を通じて主体的に健康づくりに取り組み、自分らしく生きがいをもって生活している。

#### 主な取組

- ◎ 地域・学校・職場などとの連携により、健康の保持・増進に向けた市民一人ひとりの意識の向上や行動の改善を促す取組を推進します。（健康課）
- ◎ 子どもの頃からの健全な食生活や運動・スポーツの習慣の定着に向けた取組を推進します。（健康課、スポーツ課）（5-4-1 関連）
- ◎ 生活習慣病の発症予防・重症化予防やがんの早期発見・早期治療に向けた、各種検診（健診）による健康管理を促進します。（健康課、国民健康保険課、高齢者活躍支援課）

## アンケート指標（市民が思う割合）

●環境や体制に関する評価 ○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	%	
○健康づくりに継続的に取り組んでいる	%	

## 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
●健康寿命（年）	介護保険の要介護認定者数等を用いて算定した、日常生活動作*が自立している期間の平均75歳未満における、人口10万	男 年 女 年	以下
●75歳未満のがん死亡率（年）	75歳未満における、人口10万人当たりのがんの年齢調整死亡率*	男 % 女 % (R )	男 %以下 女 %以下
●メタボリックシンドローム*予備群・該当者の割合	40歳～74歳における、メタボリックシンドローム予備群または該当者であると診断された市民の割合	男 % 女 % (R )	男 %以下 女 %以下

## 個別計画

ながの健やかプラン 21（第三次長野市健康増進計画・第三次長野市食育推進計画）  
第九次長野市高齢者福祉計画・第八期長野市介護保険事業計画

## 施策2 保健衛生の充実 【健康課】

### 【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
		○				○	○									○

### 現況と課題

- 新興感染症や再興感染症の世界的流行に備えた体制整備と、感染症予防に対する正しい知識の普及啓発が必要です。
- 健康の不安、対人関係、経済的理由など様々な要因が複合的に連鎖し、加えて新興感染症による生活様式の変化や感染への不安などにより強いストレスを感じる人や心を病む人、ひきこもり者等が増えていることから心の健康づくりを推進することが必要です。

#### 図表

- 自立支援医療\*（精神通院医療）受給者数の推移（健康課）

### 目指す状態

- ◎ 感染症の流行に備えた体制が整備され、地域に密着した専門性の高い保健衛生事業の提供により、だれもが健やかで安心・安全に暮らしている。

### 主な取組

- ◎ こころの健康に関する正しい知識の普及・啓発や相談支援に取り組むとともに、自殺予防に関する総合的な対策を推進します。（健康課）
- ◎ 新興感染症や再興感染症の流行に備え、緊急時に必要となる相談・検査及び移送等の体制を整備します。（健康課）
- ◎ 感染症の正しい知識を普及・啓発するとともに、感染症の予防や早期発見・感染拡大防止体制を整備します。（健康課、環境衛生試験所）
- ◎ 食品・医薬品の安全性の確保や生活衛生の向上に向けた監視・指導に取り組みます。（食品生活衛生課、環境衛生試験所）
- ◎ 犬猫の殺処分ゼロを目指す取組を推進します。（食品生活衛生課）

### アンケート指標（市民が思う割合）

● 環境や体制に関する評価 ○ 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
● 不安やストレスを感じた時に相談できる体制が整っている	%	
○ 不安やストレスを一人で抱え込まないようにしている	%	

### 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
● 自殺率（年）	人口 10 万人当たりの自殺率		以下

### 個別計画

ながの健やかプラン 21（第3次長野市健康増進計画・第3次長野市食育推進計画）

### 施策3 地域医療体制の充実 【医療連携推進課】

#### 【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
		○				○										○

#### 現況と課題

- 医療機関の診療時間外における救急患者を確実に受け入れるため、医療提供体制の確保が必要です。

#### 図表

- 長野市急病センター利用者数の推移 (医療連携推進課)

#### 目指す状態

- ◎だれもが必要とする時に、適切な医療サービスを受けている。

#### 主な取組

- ◎医師会や医療機関との連携により、救急医療体制を確保します。(医療連携推進課) (4-1-2 関連)
- ◎高度急性期医療\*や地域完結型医療\*の提供体制の整備を支援します。(医療連携推進課、保健所総務課)
- ◎中山間地域における国民健康保険診療所による医療提供体制を維持します。(医療連携推進課)
- ◎医療に関する患者・市民からの相談等に対応します。(保健所総務課)
- ◎公的医療保険や福祉医療制度を安定的に運営します。(国民健康保険課、高齢者活躍支援課、福祉政策課)

#### アンケート指標 (市民が思う割合)

●環境や体制に関する評価 ○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●必要な医療サービスを受けられる体制が整っている	%	
○かかりつけ医がいる	%	

#### 統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
●健康寿命 (年) (再掲: 2-4-1)	介護保険の要介護認定者数等を用いて算定した、日常生活動作が自立している期間の平均	男 年 女 年	



# 分野2 人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」(保健・福祉分野)

## 政策5 人権を尊ぶ明るい社会の形成

【担当部局】 地域・市民生活部

### 施策1 人権尊重社会の実現 【人権・男女共同参画課】

【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
○			○	○	○	○						○		○		○

#### 現況と課題

- 同和問題をはじめとする差別、いじめ、虐待、性犯罪、暴力、ハラスメント、誹謗中傷、インターネットによる人権侵害などにより、人間としての尊厳を傷つけられている人がいます。市民一人ひとりが人権尊重の意義や様々な人権問題についての理解と認識を深める必要があります。

#### 図表

- 「人権問題について理解を深めようとしている」と思う市民の割合の推移  
(企画課「市民アンケート」)

#### 目指す状態

- ◎市民一人ひとりが、生涯にわたり自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、人権を尊重している。

#### 主な取組

- ◎家庭・地域・学校・職場などあらゆる場における、様々な人権問題や社会の変化に伴って生じてくる人権問題に関し、教育・啓発活動を推進します。(人権・男女共同参画課)
- ◎人権問題に関する相談体制を充実します。(人権・男女共同参画課)

#### アンケート指標 (市民が思う割合)

●環境や体制に関する評価 ○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●互いの個性や立場を尊重し合える地域である	%	
○人権問題について理解を深めようとしている	%	

#### 統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
●人権教育・啓発研修会参加者の満足度	指導主事が講師を務める人権教育・啓発研修会の参加者のうち、研修が「とてもよい」「よい」と回答した人の割合	% (R)	%

#### 個別計画

長野市人権政策推進基本方針

## 施策2 男女共同参画社会の実現 【人権・男女共同参画課】

### 【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体	
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段	
○			○	○	○	○											○

### 現況と課題

- 性別による固定的な役割分担の意識が根強く残っていることから、意識改革のための取組を推進するとともに、男女が共に活躍できる社会環境を整備する必要があります。

#### 図表

- 「社会全体において、男女が平等である」と思う市民の割合の推移  
(人権・男女共同参画課「男女共同参画に関する市民意識と実態調査」)

### 目指す状態

- ◎男女が社会の対等な構成員として個性と能力を十分に発揮し、自らの意思により社会のあらゆる分野で活躍する機会が確保されている。

### 主な取組

- ◎男女共同参画意識の向上に向けた教育・啓発活動を推進します。(人権・男女共同参画課)
- ◎社会のあらゆる分野における女性活躍の推進を図ります。(人権・男女共同参画課)
- ◎誰もが充実した生活を送るため、仕事と家庭生活や地域活動等の両立を支援します。(人権・男女共同参画課) (2-1-1、6-4-1 関連)

### アンケート指標 (市民が思う割合)

●環境や体制に関する評価 ○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●性別にかかわらず、個性や能力を十分に活かすことができる地域である	%	
○男女共同参画 <u>や女性活躍推進</u> について理解を深めようとしている	%	

### 統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
●地域の方針決定の場への女性の参画度	住民自治協議会における、議決権のある役員への女性の参画率	%	%

### 個別計画

第五次長野市男女共同参画基本計画



### 分野3 人と自然が共生するまち「ながの」(環境分野)

#### 政策1 環境に負荷をかけない持続可能な社会の形成

施策1 脱炭素社会の実現

施策2 循環型社会の実現

#### 政策2 自然と調和した心地よい暮らしづくりの推進

施策1 豊かな自然環境の保全

施策2 良好で快適な環境の保全と創造

# 分野3 人と自然が共生するまち「ながの」(環境分野)

## 政策1 環境に負荷をかけない持続可能な社会の形成

【担当部局】 環境部、農林部

### 施策1 脱炭素社会の実現 【環境保全温暖化対策課】

【SDGs 関連】

社会							環境					経済			全体	
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○		○	○		○		○	○	○	○

#### 現況と課題

- 地球温暖化による市民活動等の影響が顕在化する中、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする取組が強く求められています。気候変動の緩和策としては、温室効果ガスの排出削減のため、有効な再生可能エネルギーの普及拡大やエネルギー消費の効率化などを推進するほか、森林資源が豊富な地域特性を活かした地域固有の木質バイオマスエネルギーの活用を促進する必要があります。また、進行する気候変動への適応策としては、影響軽減や早期警戒に関する教育や啓発などの対策の重要性が高まっています。

#### 図表

- 温室効果ガス排出量の推移(環境保全温暖化対策課)

- 太陽光発電による家庭の電力自給率の推移を表すもの(環境保全温暖化対策課)

- バイオマス発電量の推移(環境保全温暖化対策課)

#### 目指す状態

- ◎温室効果ガスの排出削減を意識した日常生活や事業活動が営まれ、排出量が年々減少しているとともに、一定程度上昇する気温の影響など、気候の変化による被害を回避、軽減している。(緩和策+適応策)

#### 主な取組

- ◎木質バイオマスエネルギー資源の活用を促進します。(環境保全温暖化対策課、森林農地整備課)(6-2-3関連)
- ◎再生可能エネルギーの適正な活用を促進します。(環境保全温暖化対策課)
- ◎家庭や事業所等の省エネルギーを促進します。(環境保全温暖化対策課)(7-2-1関連)
- ◎森林等による二酸化炭素吸収を促進します。(森林農地整備課)(6-2-3関連)
- ◎気候変動の影響に対する、適応策の啓発を促進します。(環境保全温暖化対策課)

#### アンケート指標(市民が思う割合)

●環境や体制に関する評価 ○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●身のまわりにおいて、太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える取組が日常的に行われている		
○太陽光利用や節電、自動車利用を控えるなど、温室効果ガスの発生を抑える暮らしをしている		

### 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標値
●温室効果ガス排出量	各種統計資料の電力使用量や自動車登録台数などのデータを用いて算出した市民一人一日当たりの温室効果ガス排出量		
●再生可能エネルギーによる電力自給率（発電設備容量）	発電設備容量（①水力・小水力+②太陽光+③バイオマス）／最大電力需要量		
● <u>バイオマス発電量</u>	<u>バイオマス発電施設による発電量</u>		

### 個別計画

第三次長野市環境基本計画、アジェンダ 21 ながの～環境行動計画～2018、長野市地球温暖化対策地域推進計画、長野市バイオマス産業都市構想、長野市森林整備計画

## 施策2 循環型社会の実現 【生活環境課】

### 【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○	○			○			○	○	○	○

### 現況と課題

- 家庭ごみ処理有料制度\*等の導入や地域における資源回収の定着により、ごみ\*の総排出量は減少傾向ですが、事業所からのごみの排出量が横ばいであることから、事業所に対する啓発・指導を強化する必要があります。
- 長野広域連合が進める広域での効率的なごみ処理体制の構築に、構成市町村の一員として取り組む必要があります。

### 図表

- ごみ排出量の推移（生活環境課）

### 目指す状態

◎市民や事業者がごみの発生抑制に積極的に取り組み、排出量が年々減少している。

### 主な取組

- ◎事業所からのごみの発生抑制に向けた啓発・指導を強化します。(生活環境課、廃棄物対策課、環境保全温暖化対策課)
- ◎家庭等からのごみの発生抑制を促進します。(生活環境課、環境保全温暖化対策課)
- ◎資源の適正かつ有効な利活用を促進します。(生活環境課、環境保全温暖化対策課、廃棄物対策課)
- ◎広域での効率的なごみ処理体制の構築に構成市町村の一員として取り組みます。(生活環境課)
- ◎ごみの適正処理を推進します。(生活環境課、資源再生センター、廃棄物対策課、衛生センター)

### アンケート指標（市民が思う割合）

●環境や体制に関する評価 ○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>●身のまわりにおいて、ごみの発生を減らす取組が日常的に行われている</li> <li>○食べ物を無駄にしないなど、ごみを出さないように気をつけて生活している</li> <li>○使わないものを譲り合ったり、壊れたものを修理して使うなど、再利用に取り組んでいる</li> <li>○ごみの分別を徹底している</li> </ul>		

### 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標値
●事業所からのごみ排出量	事業所からのごみ排出量（産業廃棄物を除く）		
●ごみ総排出量	市民一人一日当たりのごみ排出量		

## 個別計画

第三次長野市環境基本計画、アジェンダ 21 ながの～環境行動計画～2018、長野市一般廃棄物処理基本計画

# 分野3 人と自然が共生するまち「ながの」(環境分野)

## 政策2 自然と調和した心地よい暮らしづくりの推進

【担当部局】 環境部、保健福祉部

### 施策1 豊かな自然環境の保全 【環境保全温暖化対策課】

【SDGs 関連】

社会						環境					経済				全体		
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段	
			○			○	○			○	○				○	○	○

#### 現況と課題

- 豊かな自然を守るため保全活動に取り組んでいるものの、希少動植物の減少、気候変動による植生の変化などが危惧されています。
- 教育や情報発信を通じて自然環境保全に対する理解と関心を更に高めるとともに、生物多様性の保全活動などを、市民、事業者、行政が協働して取り組み、環境と共生する持続可能な社会へとつなげていく必要があります。

#### 図表

- 環境学習会参加者数の推移 (環境保全温暖化対策課)

#### 目指す状態

◎豊かな自然環境や生物多様性が保たれ、自然と触れ合うことができる。

#### 主な取組

- ◎地域や事業者等の環境保全活動を促進し、多様な担い手を育成します。(環境保全温暖化対策課)
- ◎市民一人ひとりの環境保全行動を促す環境教育を推進するとともに、具体的で分かりやすい環境情報を発信します。(環境保全温暖化対策課)
- ◎地域特有の生態系を保全し、生物多様性を確保します。(環境保全温暖化対策課)
- ◎国立公園を適正に管理するとともに、利活用を促進します。(環境保全温暖化対策課、観光振興課)

#### アンケート指標 (市民が思う割合)

●環境や体制に関する評価 ○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●豊かな自然環境が保たれている ○自然について学び触れ合うなど、自然環境保全を意識した暮らしをしている		

#### 統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標値
●環境学習会参加者数	市及び各団体が主催する環境学習会の参加者数		

#### 個別計画

第三次長野市環境基本計画、アジェンダ 21 ながの～環境行動計画～2018

## 施策2 良好で快適な環境の保全と創造 【生活環境課】

### 【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
		○				○	○				○			○	○	○

### 現況と課題

- 清潔なまちなみなど生活環境は概ね良好に保たれているものの、ごみのポイ捨てや不法投棄があとを絶たないことから、環境美化に対する地域や事業者等の意識を高め、環境美化活動を促進するとともに、捨てられにくい環境づくりを推進する必要があります。

### 図表

- ポイ捨て等ごみ回収量の推移（環境保全温暖化対策課）

### 目指す状態

- ◎良好な生活環境が美しく保たれている。

### 主な取組

- ◎ごみのポイ捨てや不法投棄されにくい環境づくりを推進します。（生活環境課、廃棄物対策課、環境保全温暖化対策課）
- ◎地域や事業者等の環境美化活動を促進します。（環境保全温暖化対策課、生活環境課）
- ◎ごみの不法投棄を早期に発見し、適正に処理します。（生活環境課、廃棄物対策課、環境保全温暖化対策課）
- ◎環境汚染や生活型公害を未然に防止します。（環境保全温暖化対策課、環境衛生試験所、廃棄物対策課、生活環境課）
- ◎公共用水域における水質汚濁を低減します。（生活環境課、環境保全温暖化対策課、営業課、下水道整備課）

### アンケート指標（市民が思う割合）

●環境や体制に関する評価 ○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●空気や水がきれいで、まちも美しく保たれている ○地域の環境美化活動など、良好な生活環境を保つための取組に参加している		

### 統計指標（統計による指数）

→災害やコロナで地区清掃活動が減少していることから指標を見

直す予定（5.18 環境保全温暖化対策課 宮原係長）

指標名	内容	現状値	目標値
●ポイ捨て等ごみ回収量	地域の環境美化活動のごみ回収量		

### 個別計画

第三次長野市環境基本計画、アジェンダ 21 ながの～環境行動計画～2018

## **分野4** 安全で安心して暮らせるまち「ながの」(防災・安全分野)

### **政策1** 災害に強いまちづくりの推進

**施策1** 防災・減災対策の推進

**施策2** 消防力の充実・強化及び火災予防

### **政策2** 安心して暮らせる安全社会の構築

**施策1** 交通安全対策の推進

**施策2** 防犯対策の推進

**施策3** 安全な消費生活の確保



# 分野 4

安全で安心して暮らせるまち「ながの」(防災・安全分野)

## 政策 1 災害に強いまちづくりの推進

【担当部局】 総務部、消防局

### 施策 1 防災・減災対策の推進 【危機管理防災課】

【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○			○					○		○

#### 現況と課題

- 令和元年東日本台風災害の教訓を活かし、激甚化・頻発する災害に対して、一人一人が防災意識を高め、自助・共助（互助）・公助による防災体制を構築する必要があります。
- 自主防災組織の結成率は、100%に達しているものの、災害時の被害を最小限に抑制するため、地域の実情に応じた地域防災マップの作成や実効性のある防災訓練の実施が進むよう、積極的に支援していく必要があります。

#### 図表

- 地域防災マップ作成率と防災訓練実施率の推移  
(危機管理防災課、警防課)

#### 目指す状態

◎災害発生に備え、被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている。

#### 主な取組

- ◎自助・共助（互助）意識の醸成を中心とする防災・減災の学習機会や情報を提供します。  
(危機管理防災課、警防課)
- ◎避難行動要支援者\*等の支援体制を充実します。(危機管理防災課、予防課、福祉政策課)
- ◎災害時における様々な資機材の備蓄や災害時に最も大切なライフラインを確保できるように取り組みます。(危機管理防災課、保健所総務課、健康課、水道維持課) (7-1-2 関連)
- ◎災害発生に備えた関係機関との連携の強化と防災施設の維持・更新に取り組みます。(危機管理防災課、保健所総務課、健康課)
- ◎治山、総合治水対策、道路防災対策により災害を未然に防止するとともに、住宅や公共・民間建築物などの耐震性の向上に取り組みます。(森林農地整備課、道路課、河川課、建築指導課) (6-2-3、7-1-2 関連)

#### アンケート指標 (市民が思う割合)

●環境や体制に関する評価 ○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●災害時に被害を最小限に抑制できる体制や準備が整っている	%	
○災害に備えて食料や飲料水などを備蓄している	%	

## 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
●地域防災マップ作成率	540 自主防災組織のうち、地域の防災マップを作成した割合	%	%
●防災訓練実施率	自主防災組織が実施する防災訓練の実施率	%	%

## 個別計画

長野市地域防災計画、長野市水防計画、長野市国民保護計画、長野市水道ビジョン、長野市下水道 10 年ビジョン、長野市耐震改修促進計画

## 施策2 消防力の充実・強化及び火災予防 【消防局総務課】

### 【SDGs 関連】

全体							環境					経済				
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○								○		○

### 現況と課題

- 出火件数は概ね横ばい傾向にあります。出火原因は、たき火と放火が全体の約3割を占めています。地域住民や消防団と連携し各種行事等を通じ、地域実情に応じた効果的な広報を実施することにより、市民の防火意識の高揚を図る必要があります。
- 高齢化の進行に伴う高齢者の救急需要の増加が見込まれます。応急手当の普及啓発、及び家庭などでの事故やケガを防ぐよう予防救急を推進する必要があります。

#### 図表

- 出火件数と出火原因の推移  
(予防課)

#### 図表

- 救急出動件数と高齢化率の推移  
(企画課、警防課)

### 目指す状態

◎市民の防火意識が高く、消防・救急・救助体制の充実により市民の生命・財産が守られている。

### 主な取組

- ◎「地域コミュニティの共助体制」の構築を推進し、防災意識を向上させることで、火災件数の抑制と、各種災害による被害を最小限に食い止めます。(予防課、警防課)
- ◎多様な救命講習会の受講機会を提供し、幅広い年代層を対象に応急手当の普及啓発を行います。(警防課)
- ◎消防庁舎等の施設、消防車両、消防活動に必要な資機材及び災害通報を受信する通信指令システムの計画的な整備に取り組みます。(消防局総務課・警防課・通信指令課)
- ◎様々な事故や災害などの緊急事態に備えた救急・救助体制を強化するとともに、医療機関との連携に取り組みます。(警防課)(2-4-3 関連)
- ◎消防団への加入促進や消防団組織の活性化を推進します。(警防課)

### アンケート指標 (市民が思う割合)

●環境や体制に関する評価 ○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●消防や救急体制が十分に整っている	%	
○応急手当の仕方を講習会などにより勉強している	%	

### 統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
●出火率 (年)	人口1万人当たりの出火件数	件	件以下

## 個別計画

長野市地域防災計画

# 分野 4

安全で安心して暮らせるまち「ながの」(防災・安全分野)

## 政策 2 安心して暮らせる安全社会の構築

【担当部局】 地域・市民生活部

### 施策 1 交通安全対策の推進 【地域活動支援課】

【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
		○				○								○		○

#### 現況と課題

- 高齢者に係る死亡事故の割合が高止まり状態(約 60%)で推移している状況にありますので、より一層対策を進める必要があります。
- 自転車のルール違反を原因とする交通事故が、全自転車事故の半数以上を占めており、交通ルールの周知やマナーの向上を図る必要があります。

#### 図表

● 交通事故件数と、高齢死者数の構成率(長野市事故統計)

#### 図表

● 自転車事故件数と、誤った通行方法による自転車事故の死傷者数の構成率(長野市事故統計)

#### 目指す状態

◎市民が交通事故の被害者・加害者になることなく、安全に安心して生活している。

#### 主な取組

- ◎ 世代に応じた交通安全教育を進めます。(地域活動支援課)
- ◎ 交通安全意識の高さを維持しつつ、交通弱者への思いやり意識の醸成を図ります。(地域活動支援課)
- ◎ 安全で円滑な道路環境を整備します。(道路課、維持課)

#### アンケート指標(市民が思う割合)

●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●交通マナーが良い地域である	%	
○ <u>自転車の交通ルールやマナーを意識している。</u>	%	

#### 統計指標(統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
●交通事故件数(年)	交通事故件数	件	件以下
● <u>自転車事故件数(年)</u>	<u>自転車事故件数</u>	件	件以下

#### 個別計画

長野市交通安全実施計画

## 施策2 防犯対策の推進 【地域活動支援課】

### 【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○										○

### 現況と課題

●刑法犯発生件数は年々減少傾向にあるものの、市民に身近な犯罪（乗り物盗、万引き）や、不安に感じる事象（子供や女性を対象とする声かけ事案など）が依然として発生している現状にあります。これらの被害に遭わないため、防犯協会連合会等の関係団体と連携を密にした、自主防犯活動を更に推進する必要があります。

### 図表

●刑法犯発生件数と窃盗件数の推移（長野県警察）

### 目指す状態

◎市民の防犯意識が高く犯罪被害に遭うことなく、安全に安心して生活している。

### 主な取組

◎地域での自主防犯活動を支援し、市民の防犯意識を高めます。（地域活動支援課）

### アンケート指標（市民が思う割合）

●環境や体制に関する評価 ○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
● <u>犯罪被害に遭うことなく安心して生活できる地域である</u>	%	
○ <u>犯罪被害に遭わないよう対策をしている</u>	%	

### 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
● <u>刑法犯認知件数</u>	凶悪犯罪*以外の <u>認知</u> 件数	件	件 未満
● <u>窃盗犯認知件数（年）</u>	<u>窃盗犯認知件数（年）</u>	件	件 未満

### 施策3 安全な消費生活の確保 【市民窓口課】

#### 【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○										○

#### 現況と課題

- 悪質商法や特殊詐欺は常に新たな手口が発生し・巧妙化しており、消費生活相談件数は年々増加しています。
- 新型コロナ禍で地域の交流の場であった行事やイベントが制限され、巣ごもりによる余暇の時間が増え、通信販売と訪問販売に関する相談（被害）が増加しています。
- 広報媒体と出前講座（消費者教育）を有効に活用し被害手口を幅広く適時適切に周知し、地域住民の口コミや関係団体、地域の関係者との連携により地道に意識の醸成を図る必要があります。

#### 図表

- 消費生活センターへの相談件数と通信販売被害認知件数の推移（市民窓口課）

#### 図表

- 特殊詐欺の認知件数と被害額の推移（長野県警察）

#### 目指す状態

- ◎ 関係団体や地域の関係者との強い連携により市民の消費生活における健全な環境が確保され、安全で安心な暮らしを送っている。

#### 主な取組

- ◎ 各団体等とより連携した取組み体制と情報提供や学習機会を充実するとともに、消費生活相談体制の拡充に取り組みます。（市民窓口課）
- ◎ 悪質商法や詐欺被害の未然防止と拡大防止に取り組みます。（地域活動支援課・市民窓口課）

#### アンケート指標（市民が思う割合）

●環境や体制に関する評価 ○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
● <u>悪質商法</u> や特殊詐欺などの消費生活に関する相談体制が整っている	%	
○家族や友人と特殊詐欺の対策を話し合うなど、日頃から気をつけている	%	

#### 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
●通信販売（インターネット等）に関する被害認知件数	消費生活センターで把握する通信販売（インターネット等）の被害認知件数	件	件以下
●特殊詐欺認知件数（年）	<u>県警出典による</u> 特殊詐欺の認知件数	件	件以下

## 分野5 豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」(教育・文化分野)

### 政策1 未来を切り拓く人材の育成と環境の整備

施策1 乳幼児期から高等教育までの教育の充実

施策2 子どもに応じた支援の充実

施策3 家庭・地域・学校の相互連携による教育力向上

### 政策2 豊かな人生を送るための学習機会の提供

施策1 生涯学習環境の充実

施策2 学習成果を活かした地域づくりへの参加促進

### 政策3 魅力あふれる文化の創造と継承

施策1 多彩な文化芸術の創造と活動支援

施策2 文化の継承による魅力ある地域づくりの推進

### 政策4 スポーツを軸としたまちづくりの推進

施策1 だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進

施策2 スポーツを通じた交流拡大の推進

### 政策5 国際交流・多文化共生の推進

施策1 国際交流活動の推進

施策2 多文化共生の推進



# 分野5 豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」（教育・文化分野）

## 政策1 未来を切り拓く人材の育成と環境の整備

【担当部局】 教育委員会、こども未来部

### 施策1 乳幼児期から高等教育までの教育の充実 【学校教育課】

【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体	
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段	
			○			○											○

#### 現況と課題

- 学力は中学生になると全国平均を下回る状況が続きましたが、諸調査等の結果に基づく指導改善の取り組み等により、全国平均と同等になっております。学力の向上について、新学習指導要領の趣旨を踏まえ、全ての児童生徒が適切かつ効果的な学習成果が得られるよう、家庭・地域・事業所等と協働しながら、個別最適な学び・協働的な学びの実現に向け取り組む必要があります。  
また体力は、男子は全国平均を上回る種目が多い傾向にあり、女子は全国平均を下回る種目が多い傾向にあります。体力の向上について、多様な特性を持つ児童生徒や運動に親しめていない児童生徒が日常的に運動できる環境を整備する必要があります。
- 平成30年6月に、長野市活力ある学校づくり検討委員会から示された「少子化に対応した子どもにとって望ましい教育環境の在り方」（答申）に沿った活力ある学校づくりを推進していく必要があります。

#### 図表

- 全国学力・学習状況調査の平均正答率の推移（小学生）（学校教育課）

#### 図表

- 全国学力・学習状況調査の平均正答率の推移（中学生）（学校教育課）

#### 目指す状態

◎子どもが社会でたくましく生きていくために、主体的に探究したり、協働的に学んだりしながら、知・徳・体を一体的に身に付け、人間性豊かに成長している。

#### 主な取組

- ◎子どもの知・徳・体を一体的に育成し、健康の保持・増進に取り組めます。（学校教育課、保育・幼稚園課、保健給食課）
- ◎園児・児童・生徒の交流、小・中・高等学校の学校種間連携や小中一貫教育を推進するとともに、「長野市活力ある学校づくり検討委員会」から示された答申に沿った「新たな学びの場の創出」に取り組めます。（学校教育課、保育・幼稚園課）（2-1-2 関連）
- ◎乳幼児期における教育・保育の質の向上に取り組めます。（保育・幼稚園課）（2-1-2 関連）
- ◎社会の変化に対応でき、地域への関心を高める教育を推進します。また、社会的・職業的

- 自立に向けた能力・態度を育成します。(学校教育課)
- ◎教職員の力量向上に取り組みます。(学校教育課)
- ◎高等教育機関等の教育環境の充実に向けて支援するとともに、連携による地域の発展と人材育成に取り組みます。(企画課、教育委員会総務課)

**アンケート指標 (市民が思う割合)** ●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>●<u>知(学力)・徳(豊かな心)・体(体力)を一体的に育成し、</u> 子どもがたくましく生きていくための教育が行われている</li> <li>○(設定なし)</li> </ul>		

**統計指標 (統計による指数)**

指標名	内容	現状値	目標
●全国学力・学習状況調査における国語、算数、数学の平均正答率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>小学校6年生(国語、算数)</u></li> <li>・<u>中学校3年生(国語、数学)</u></li> <li>の平均正答率(全国を100とした指数)</li> </ul>		
●全国体力・運動能力、運動習慣等調査において全国平均値を上回った種目数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校5年生(8種目)</li> <li>・中学校2年生(9種目)</li> </ul> について、全国平均値を上回った種目数		
● <u>全国体力・運動能力、運動習慣等調査の児童生徒質問紙</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>運動やスポーツをすることが好きと答える児童生徒(小学校5年生、中学校2年生)の全国比</u></li> <li>・<u>授業以外の1週間の運動時間が60分以上の児童生徒(小学校5年生、中学校2年生)の全国比</u></li> </ul>		

**個別計画**

第三次長野市教育振興基本計画、長野市乳幼児期の教育・保育の指針

## 施策2 子どもに応じた支援の充実 【学校教育課】

### 【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
○			○		○	○										○

### 現況と課題

- 市の不登校児童生徒の在籍率は国・県同様、年々増加傾向にあります。学校に登校することだけを目指とするのではなく、一人ひとりの子どもたちに応じて、適切な支援を行うことが重要であることから、引き続き、SDGs の理念である「誰一人取り残さない」という視点を持ち、関係機関等と連携して、不登校やいじめの未然防止、様々な特性をもった子どもへの対策とともに、一人ひとりの子どもが社会的自立ができるよう対策を講じる必要があります。

#### 図表

- 不登校児童在籍率の推移（小学生）  
（学校教育課）

#### 図表

- 不登校生徒在籍率の推移（中学生）  
（学校教育課）

### 目指す状態

- ◎ 不登校やいじめに悩む子ども、様々な特性のある子ども、社会的援助を必要とする子どもなど、子どもに応じた適切な支援の下、関係機関等と連携し、一人ひとりに合わせて安心安全に学習に取り組んでいる。

### 主な取組

- ◎ 不登校やいじめの未然防止に取り組むとともに、子どもや保護者に対する支援体制を充実します。（学校教育課）
- ◎ いじめのない安心な学校づくりを推進します。（学校教育課）
- ◎ 障害のある子どもや社会的援助を必要とする子どもを支援します。（子育て支援課、教育委員会総務課、学校教育課、障害福祉課、生活支援課）（2-1-3、2-3-1 関連）

### アンケート指標（市民が思う割合）

● 環境や体制に関する評価 ○ 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
● 子ども一人ひとりが大切にされ、安心して学習に取り組める相談・支援体制が整っている ○（設定なし）		

### 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
● <u>新規不登校児童生徒の在籍率</u>	児童生徒のうち、 <u>前年度新たに不登校となった児童生徒の割合</u>		

### 個別計画

第三次長野市教育振興基本計画、いじめ防止等のための基本的な方針、第二期長野市子ども・子育て支援事業計画

**施策3 家庭・地域・学校の相互連携による教育力向上** 【家庭・地域学びの課】

**【SDGs 関連】**

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
			○			○								○		○

**現況と課題**

- 全国学力・学習状況調査の質問項目で「家の人と学校での出来事について話をしている」と回答した児童生徒の割合は全国平均とほぼ同じです。また、「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した割合は全国と比べて大きく上回っています。引き続き、子どもを健やかに育むために、家庭・地域・学校の相互連携により、学びや育ちを支えていく必要があります。

**図表**

- 「家の人と学校での出来事について話をしている」と回答した児童生徒の割合の推移（学校教育課「全国学力・学習状況調査」の質問項目）

**図表**

- 「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合の推移（学校教育課「全国学力・学習状況調査」の質問項目）

**目指す状態**

- ◎家庭・地域・学校が相互連携により教育力を向上し、子どもの学びや育ちを支えている。

**主な取組**

- ◎親子が共に学び成長する力の向上につながる取組を推進します。（家庭・地域学びの課、健康課）（2-1-2 関連）
- ◎地域が主体となって子どもの学びや育ちを支える取組を推進します。（家庭・地域学びの課、学校教育課）
- ◎放課後などに子どもが安全・安心に過ごし、多様な体験や活動ができる環境を充実します。（こども政策課）（2-1-1 関連）

**アンケート指標（市民が思う割合）**

●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●家庭・地域・学校が連携して、子どもの学びや育ちを支えている ○地域の子どもにあいさつや声かけをしている		

**統計指標（統計による指数）**

指標名	内容	現状値	目標
●家の人と学校での出来事について話をしている児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査結果（全国を100とした指数）		
●住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査結果（全国を100とした指数）		

**個別計画**

第三次長野市教育振興基本計画、第二期長野市子ども・子育て支援事業計画

# 分野5

豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」(教育・文化分野)

## 政策2 豊かな人生を送るための学習機会の提供

【担当部局】 教育委員会

### 施策1 生涯学習環境の充実 【家庭・地域学びの課】

【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
			○			○										

#### 現況と課題

- 生涯学習センターや公民館、交流センターを利用して生涯学習に取り組む若い世代が少ないことから、これらの世代が利用しやすいよう、講座や施設の周知、内容の充実、施設運営などを検討する必要があります。

#### 図表

- 「生涯学習活動に公民館や生涯学習センターを利用する」と回答した市民の割合の推移(家庭・地域学びの課「令和2年度アンケート」)

#### 目指す状態

◎ライフステージに応じた学習情報や学びの機会が提供され、多くの市民が学びを実践している。

#### 主な取組

- ◎多様なニーズに対応した講座を充実します。(家庭・地域学びの課)
- ◎利用しやすい生涯学習施設や図書館の運営を推進します。(家庭・地域学びの課)
- ◎生涯学習に関する情報を適切に提供します。(家庭・地域学びの課)

#### アンケート指標 (市民が思う割合)

●環境や体制に関する評価 ○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●公民館などで、学びの機会が提供されている ○公民館などで提供されている学びの場に参加している		

#### 統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
●若い世代を中心に構成される団体が市立公民館・ <u>交流センター</u> を利用した割合	市立公民館・ <u>交流センター</u> を利用する全団体のうち、20歳代～40歳代中心で構成されている団体が市立公民館・ <u>交流センター</u> を利用した割合		

#### 個別計画

第三次長野市教育振興基本計画、第三次長野市生涯学習推進計画、長野市立図書館基本計画

**施策2 学習成果を活かした地域づくりへの参加促進** 【家庭・地域学びの課】

**【SDGs 関連】**

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○								○		○

**現況と課題**

- 生涯学習が住民主体の地域づくりにつながることから、市立公民館の指定管理者制度\*の導入を受託可能な住民自治協議会から進めています。公民館活動を更に活発化し、市民が生涯学習を通じて充実感を得られ、地域づくりに活かせるよう支援する必要があります。

**図表**

- 「生涯学習活動の目的」についての市民意識  
(家庭・地域学びの課「令和2年度アンケート」)

**目指す状態**

- ◎あらゆる世代の人が公民館や交流センターなどで地域を学び、地域づくりに活かしている。

**主な取組**

- ◎地域づくりにつながる学習を支援します。(家庭・地域学びの課)
- ◎学習成果を発表する場と活用する仕組みを充実します。(家庭・地域学びの課)
- ◎市民による講座の企画・運営を支援します。(家庭・地域学びの課)

**アンケート指標 (市民が思う割合)**

●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●公民館などで、地域づくりに活かされる学びの機会が提供されている ○公民館などで学んだことを地域づくりに活かしている		

**統計指標 (統計による指数)**

指標名	内容	現状値	目標
●市立公民館・交流センターの「地域の学び」講座受講者数	市立公民館・交流センターの「地域の学び」講座受講者の割合		

**個別計画**

第三<sup>次</sup>長野市教育振興基本計画、第三<sup>次</sup>長野市生涯学習推進計画



# 分野5

豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」(教育・文化分野)

## 政策3 魅力あふれる文化の創造と継承

【担当部局】 文化スポーツ振興部、教育委員会

【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体	
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダ	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段	
			○			○											○

### 現況と課題

- 市民の文化芸術活動が盛んで、各地域には伝統芸能が広く伝わっており、平成27年善光寺御開帳プロジェクトや長野市美術館の開館により、市民の関心も高まっています。今後も鑑賞・発表など市民が気軽に文化芸術に親しめる機会の提供を進める必要があります。
- また、県北部の中核都市として、近隣市町村と連携しながら、継続的な発展を進める必要があります。

**図表**

- 「音楽、美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている」についての市民意識（文化芸術課「まちづくりアンケート」）

### 目指す状態

- ◎子ども、高齢者、障害者など、あらゆる人々が日常から気軽に文化芸術に触れ、常に活発な文化芸術活動が行われている。

### 主な取組

- ◎長野市美術館を拠点とした多彩な文化芸術の鑑賞機会を提供します。(文化芸術課)
- ◎市民の自主的・自発的な文化芸術活動を支援し、生きがいやまちのにぎわいにつながる発表の機会を充実します。(文化芸術課)
- ◎子どもの創造力や感性を育む文化芸術活動を支援します。(文化芸術課)
- ◎交流が広がる魅力ある文化芸術公演やイベントを企画・創造します。(文化芸術課)

### アンケート指標 (市民が思う割合)

●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●音楽、美術、演劇など文化芸術に気軽に親しめる環境が整っている		
○音楽、美術、演劇などを <u>観たり、聴いたり、行ったりして楽しんでいる</u>		

### 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
●市有ホール施設の利用者数	長野市芸術館、東部文化ホール、松代文化ホール、勤労者女性会館しなのき、若里市民文化ホールの利用		

### 個別計画

第二次長野市文化芸術振興計画



## 施策2 文化の継承による魅力ある地域づくりの推進 【文化財課】

【SDGs 関連】

社会							環境				経済			全体		
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○								○		○

### 現況と課題

- 指定文化財をはじめとする有形・無形の歴史・文化遺産があり、観光資源や地域住民のよりどころとして保存・継承されています。引き続き、指定文化財などの保存と活用を進めるとともに、適切に継承されるよう担い手の確保などを支援する必要があります。

### 図表

- 国・県・市指定等の文化財件数  
(文化財課)

### 目指す状態

- ◎指定文化財をはじめとする有形・無形の歴史・文化遺産が適切に保存・継承・活用され、魅力ある地域づくりにつながっている。

### 主な取組

- ◎指定文化財などを調査・整備し、博物館での展示や史跡の公開を進めます。(文化財課)
- ◎伝統芸能を次世代へ保存・継承する関係団体の活動を支援します。(文化芸術課)
- ◎重要伝統的建造物群保存地区\*をはじめ、歴史的なまちなみなどの環境を保存・活用します。(都市政策課、文化財課) (7-1-4 関連)
- ◎歴史・文化遺産を活かし、観光との連携を推進します。(文化財課、観光振興課)
- ◎歴史・文化遺産の保護に関わる団体を育成し、活動を支援します。(文化財課)

### アンケート指標 (市民が思う割合)

●環境や体制に関する評価 ○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●地域の文化財が適切に保存・継承・活用されている ○地域の伝統的な行事に参加している		

### 統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
●文化財保護活動参加者数	指定文化財の保護に当たっている市民団体の構成員で活動に参加した人数		

### 個別計画

第三次長野市教育振興基本計画、第二次長野市文化芸術振興計画、長野市歴史的風致維持向上計画

# 分野5 豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」(教育・文化分野)

## 政策4 スポーツを軸としたまちづくりの推進

【担当部局】 文化スポーツ振興部

### 施策1 だれもがスポーツを楽しめる環境づくりの推進 【スポーツ課】

【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
			○		○	○										○

#### 現況と課題

●成人のスポーツ実施率は増加しており、全国に比べると高い状態にあります。近年、医療費の抑制や健康寿命延伸の観点から、スポーツや運動による日常的な健康づくりが注目されています。

また、子どものスポーツ活動の実施については、家庭、地域、学校の連携を中心にした環境から、民間や総合型地域スポーツクラブ、スポーツの競技団体などが中心となる環境整備が求められています。

このことから、子どもや、仕事、家事、育児等で忙しい世代、高齢者など各年代やライフスタイルに応じて、スポーツを身近に感じ、楽しめる環境を整備する必要があります。

#### 図表

- 成人が週1回以上スポーツや運動を実施した割合の推移  
(スポーツ課「まちづくりアンケート」、内閣府、文部科学省)

#### 目指す状態

◎安全・安心で気軽にスポーツや運動に親しめる環境が整い、市民が自分に合ったスポーツや運動を楽しんでいる。

#### 主な取組

- ◎スポーツを通じた健康増進や健康寿命延伸につながる取組を推進します。(スポーツ課、健康課) (2-4-1 関連)
- ◎総合型地域スポーツクラブ\*やスポーツ推進委員の育成・活用など、地域における自主的なスポーツ活動を促進します。(スポーツ課)
- ◎障害者のスポーツ参加の機会拡大やだれもが使いやすい環境づくりを推進します。(障害福祉課、スポーツ課)
- ◎競技スポーツ人口の拡大を推進します。(スポーツ課)
- ◎スポーツ施設を計画的に整備・改修するとともに、適切な管理運営を行います。(スポーツ課)

**アンケート指標（市民が思う割合）**

●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●スポーツや運動を気軽にできる環境が整っている ○（設定なし）		

**統計指標（統計による指数）**

指標名	内容	現状値	目標
●スポーツ実施率	成人が週1回以上スポーツや運動を実施した割合		

**個別計画**

第三次長野市スポーツ推進計画、ながの健やかプラン21（第三次長野市健康増進計画・第三次長野市食育推進計画）、第二次長野市障害者基本計画

## 施策2 スポーツを通じた交流拡大の推進 【スポーツ課】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○						○				○

### 【SDGs 関連】

#### 現況と課題

- オリンピック・パラリンピックを開催したことによる有形無形の財産を活用し、スポーツによる産業振興が可能な本市の特徴を十分に活かしていくことが重要です。  
さらに、オリンピック・パラリンピックを開催した都市として、本市のプロモーションを強化し、オリンピック・パラリンピックムーブメントを継承するとともに推進する必要があります。  
また、現在、本市をホームタウンとする地域密着型プロスポーツチームは4チームに増加しており、チームへの愛着が増すことで、地元地域への誇りや一体感、コミュニティ意識が高まり、地域の活性化が進むことから、市内スポーツ施設で観戦する市民の割合を、さらに高める必要があります。

#### 図表

- 競技場でスポーツ観戦をした市民の割合（スポーツ課）

#### 目指す状態

- ◎ 多くの市民が市内のスポーツ施設でスポーツを観戦するとともに、スポーツを通じた交流人口が拡大し、地域の活性化が進んでいる。

#### 主な取組

- ◎ 大規模スポーツ施設を活用した国際大会や全国大会などを誘致・開催します。（スポーツ課、観光振興課）（6-1-3 関連）
- ◎ 長野マラソンや全国中学校スケート大会の継続開催など、宿泊滞在型のスポーツイベントを支援します。（スポーツ課、観光振興課）
- ◎ 地域密着型プロスポーツチームと連携・協力します。（スポーツ課）
- ◎ オリンピック・パラリンピックムーブメント\*を継続的に推進します。（スポーツ課、観光振興課）
- ◎ 第82回国民スポーツ大会、第27回全国障害者スポーツ大会開催に向けた準備を進めます。（スポーツ課）

#### アンケート指標（市民が思う割合）

●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●プロスポーツや各種競技大会が盛んに行われている ○市内のスポーツ施設で、プロスポーツや各種競技大会を観戦している		

**統計指標（統計による指数）**

指標名	内容	現状値	目標
● <u>地域密着型プロスポーツ チームのホームゲーム入 場者数</u>	<u>プロスポーツチームのホー ムゲームの入場者数</u>		

**個別計画**

第三次長野市スポーツ推進計画、長野市観光振興計画

# 分野5 豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」（教育・文化分野）

## 政策5 国際交流・多文化共生の推進

【担当部局】 **商工観光部**、教育委員会

### 施策1 国際交流活動の推進 【観光振興課】

【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
			○			○										○

#### 現況と課題

- 姉妹都市・友好都市などとの交流のほか、市民団体による地域に根ざした国際交流などの活動促進にも取り組んでいます。更に多くの市民が事業の参加や活動に関わり国際交流を底上げできるよう、活動を推進するとともに支援を拡充する必要があります。また、社会情勢の変化に対応できる新しい形での交流も行う必要があります。

#### 図表

- 姉妹都市・友好都市との交流実績の推移（**観光振興課**）

#### 目指す状態

◎多くの市民が国際交流に関心を持ち、国際交流事業に参加し、活動に関わっている。

#### 主な取組

- ◎姉妹都市・友好都市などとの国際交流活動を推進します。（**観光振興課**、学校教育課）
- ◎オンラインを活用した国際交流活動に取り組みます。（**観光振興課**、学校教育課）
- ◎SNS等を活用して国際交流活動を多くの市民に周知するとともに、市民主体の国際交流活動を支援・促進します。（**観光振興課**）
- ◎国際交流員\*などを派遣し学校や地域との交流を推進します。（**観光振興課**）

#### アンケート指標（市民が思う割合）

●環境や体制に関する評価 ○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●国際交流が盛んに行われている ○国際交流イベントに参加している		

#### 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
●国際交流事業件数	市の国際交流事業補助金を活用し、市民団体が主催した国際交流イベントや留学生との交流事業などの件数		

#### 個別計画

第**三**次長野市教育振興基本計画

## 施策2 多文化共生の推進 【観光振興課】

### 【SDGs 関連】

社会							環境				経済				全体		
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段	
○			○		○	○											○

### 現況と課題

- 外国人住民数は 4,000 人を超えました。今後、更に国際化が進展する中、多様性や価値観の違いを尊重し、相互理解を深め、外国人が暮らしやすく共生できる多文化共生社会の実現に向けて取組を推進する必要があります。

### 図表

- 国別外国人登録者数の推移  
(市民窓口課)

### 目指す状態

- ◎多様性を認め合い、互いを尊重している。また、文化や習慣などが異なる外国人にとっても、暮らしやすい環境が整っている。

### 主な取組

- ◎異なる文化や習慣などへの相互理解と共生意識の醸成を促進します。(観光振興課、人権・男女共同参画課)
- ◎外国人の日常生活や学校生活などに対する支援体制を充実します。(観光振興課、学校教育課)

### アンケート指標 (市民が思う割合)

- 環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
● (設定なし) ○外国の文化や習慣を理解しようと努めている		

### 統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
●国際交流コーナーの利用者数	国際交流コーナーで開催している日本語教室の受講者、母語相談やイベント等で訪れた人数		
●SNS*のフォロワー*数	長野市国際交流フェイスブック等のSNSをフォローしている人数		

### 個別計画

第三次長野市教育振興基本計画、長野市人権政策推進基本方針

## **分野6** 産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」(産業・経済分野)

### **政策1** 魅力を活かした観光の振興

**施策1** 豊富な観光資源等を活かした観光交流促進

**施策2** インバウンドの推進

**施策3** コンベンションの誘致推進

### **政策2** 活力ある農林業の振興

**施策1** 多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進

**施策2** 地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進

**施策3** 森林の保全と資源の活用促進

### **政策3** 特色を活かした商工業の振興

**施策1** 商工業の強化と環境整備の促進

**施策2** 地域の特性が光る商工業の推進

**施策3** 新たな活力につながる産業の創出

### **政策4** 安定した就労の促進

**施策1** 就労の促進と多様な働き方の支援

**施策2** 勤労者福祉の推進



# 分野 6

産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」（産業・経済分野）

## 政策 1 魅力を活かした観光の振興

【担当部局】 商工観光部

### 施策 1 豊富な観光資源等を活かした観光交流促進 【観光振興課】

【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○						○			○	○

#### 現況と課題

- 一人あたりの観光消費額が目標値を下回っており、**新型コロナウイルス感染症の感染拡大により観光入込客数も減少傾向であるため、魅力的な観光コンテンツの構築やICTを活用した効果的・継続的な情報発信を行うとともに、本市の有するハブ機能を活用した広域的な観光を展開する必要があります。**

#### 図表

- 観光地入込客数と観光消費額の推移（観光振興課）

#### 目指す状態

- ◎豊富な観光資源を活かし、観光客でにぎわい観光消費額が増加している。

#### 主な取組

- ◎様々な分野と連携することにより、長野市ならではの魅力的な観光コンテンツの開発を推進します。（観光振興課、商工労働課、農業政策課、文化芸術課、スポーツ課、地域活動支援課、**環境保全温暖化対策課**、文化財課）（6-2-2 関連）
- ◎善光寺、戸隠や松代等を起点とした市内を周遊する仕組みづくりを推進します。（観光振興課）
- ◎効果的に情報を発信するとともに、観光客の受入環境整備を推進します。（観光振興課、都市政策課）
- ◎地域の観光資源を磨き上げるとともに、観光の担い手となる人材の育成を支援します。（観光振興課）
- ◎長野駅のハブ機能を活かし、多様な魅力を有する市町村との広域観光連携を推進します。（観光振興課）

#### アンケート指標（市民が思う割合）

●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●長野市は、魅力的な観光都市である ○知人や友人などに地域の魅力を伝えている		

### 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
● 市内観光宿泊者数（年） ● 観光消費額 ● 観光入込客数	観光庁「宿泊旅行統計調査」に基づく市内宿泊者数の推計 一人当たりの観光消費額の推計 市内の主な観光地（11箇所）への入込客数の総計		

### 個別計画

長野市観光振興計画、長野市商工業振興・雇用促進計画、長野市農業振興アクションプラン、第三次長野市やまざと振興計画

## 施策2 インバウンドの推進 【観光振興課】

### 【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○						○			○	○

### 現況と課題

- 継続的な誘客プロモーションの効果により、市内外国人宿泊者数の増加傾向が継続していましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、外国人観光客の激減が予想されます。今後は、ターゲット国に対する効果的な誘客活動を継続的に行うとともに、外国人観光客にとって安心な旅先として選んでいただけるよう、更なるプロモーションの推進が必要です。

#### 図表

- 外国人宿泊者数の推移（主要地域別内訳表示）  
（観光振興課）

### 目指す状態

- ◎外国人観光客の誘客に向けた効果的な情報発信を行うとともに、充実した受入環境の下で外国人観光客が快適に滞在している。

### 主な取組

- ◎多様性に配慮したインバウンドのプロモーションを推進します。（観光振興課）
- ◎外国人観光客を円滑に受け入れることができる環境を整備します。（観光振興課、都市政策課）
- ◎インバウンドに対応できる人材の育成を支援します。（観光振興課）

### アンケート指標（市民が思う割合）

- 環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>● [再掲：長野市は、魅力的な観光都市である]</li> <li>○困っている外国人観光客を見かけた時、なるべく手助けするよう心がけている</li> </ul>		

### 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
●市内外国人宿泊者数（年）	観光庁「宿泊旅行統計調査」に基づく外国人の市内宿泊者数の推計		

### 個別計画

長野市観光振興計画

### 施策3 コンベンションの誘致推進 【観光振興課】

#### 【SDGs 関連】

社会						環境					経済				全体	
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○						○			○	○

#### 現況と課題

- 開催地決定に関するハードルが比較的低い中小コンベンションに的を絞った誘致活動や、デジタルサイネージ等を活用した開催告知などの支援によりコンベンション参加者数は高水準で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により多くの開催が中止となったことで参加者数が減少しています。今後は、主催者や各観光協会等との連携を強化しながら、多様なコンベンションの誘致を図る必要があります。

#### 図表

- 誘致・支援したコンベンションの開催件数と参加者数の推移（観光振興課）

#### 目指す状態

- ◎ 多様なコンベンションが開催され、参加者でにぎわっている。

#### 主な取組

- ◎ 国内外のコンベンション、文化芸術イベントやスポーツ大会等を積極的に誘致し、円滑な開催を支援します。（観光振興課、文化芸術課、スポーツ課）（5-4-2 関連）
- ◎ フィルムコミッション\*に積極的に取り組みます。（観光振興課）

#### アンケート指標（市民が思う割合）

● 環境や体制に関する評価 ○ 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
● コンサートやスポーツ大会などのイベントの開催により、にぎわいが生まれている ○（設定なし）		

#### 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
● コンベンションの参加者数	ながの観光コンベンションビューロー*が誘致・支援したコンベンションへの参加者数		

#### 個別計画

長野市観光振興計画、第二次長野市文化芸術振興計画、第三次長野市スポーツ推進計画

# 分野 6 産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」(産業・経済分野)

## 政策 2 活力ある農林業の振興

【担当部局】 農林部

### 施策 1 多様な担い手づくりと農地の有効利用の推進 【農業政策課】

【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
	○					○						○	○	○	○	○

#### 現況と課題

- 農家一戸当たりの耕作面積が小さく、耕地が分散していることに加え、後継者不足により農業従事者が減少しているため、農地の集約化と多様な担い手の確保などにより、生産性を高める必要があります。

#### 図表

- 年齢別農業従事者数の推移 (企画課)
- 認定農業者数と認定新規就農者数 (農業政策課)
- 農地の利用権設定\*面積の推移 (農業政策課)

#### 目指す状態

◎農地が有効に利用され、専業農家のほか多様な担い手が農業に取り組んでいる。

#### 主な取組

- ◎中心となる担い手となる認定農業者などを育成します。(農業政策課)
- ◎新規就農者、定年帰農者や農業参入企業など、多様な担い手の確保に取り組みます。(農業政策課、農業委員会)
- ◎農業者を支える団体の活動を支援します。(農業政策課)
- ◎優良農地を確保するとともに、各地区の人・農地プランに沿って中心となる担い手への集約を推進します。(農業政策課、農業委員会)
- ◎農業生産基盤を整備し、農業用施設を適切に維持・管理します。(森林農地整備課、農業政策課)

#### アンケート指標 (市民が思う割合)

●環境や体制に関する評価 ○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
● <u>高齢者や女性がいきいきと農業に従事し、最近では若者が農業をする姿も見受けられる。</u> ○野菜や果物づくりなどを楽しんでいる		

#### 統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
● <u>地域の中心経営体数</u>	<u>人・農地プランに掲載されている者の数</u>		
●農地の利用権設定面積	<u>農地情報公開システム登録面積</u>		

#### 個別計画

長野市農業振興アクションプラン

## 施策2 地域の特性を活かした生産振興と販売力強化の促進 【農業政策課】

### 【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
	○					○						○	○		○	○

### 現況と課題

- 輸入農産物の増加、国内他産地との競合、農業従事者の高齢化や後継者不足等により、各種農産物の生産環境は厳しい状況にあります。本市のりんご、もも、ぶどうなどの果実は、市場での評価が高いことから、果樹栽培における新品種や新技術の導入を促すとともに、スマート農業の取組みを進め、さらに、自然災害や野生鳥獣による農業被害への対策を支援するほか、国内外への販路拡大や、加工品開発等により付加価値を高める必要があります。
- 都市部の住民の農業への関心が高まっているため、都市と農村のつながりの場を提供することで、農業や農村への理解を促進するとともに、地産地消の推進により消費の拡大へつなげていく必要があります。

#### 図表

- りんごの栽培面積と新わい化\*の割合（農業政策課）

- ぶどうの栽培面積と新品種の割合推移（農業政策課）

### 目指す状態

- ◎ りんご、もも、ぶどうなどの高品質で安全・安心なおいしい農産物が生産され、高い評価を得ている。

### 主な取組

- ◎ 果樹の新技術・新品種の導入やスマート農業の導入を推進し、主要農畜産物の生産を振興します。（農業政策課）
- ◎ 中山間地域の特性を活かした生産を振興します。（農業政策課）
- ◎ 安全・安心な農産物づくりを促進します。（農業政策課）
- ◎ 自然災害や野生鳥獣による農作物被害への対策を推進するとともに、ジビエを新たな地域資源として活用します。（農業政策課、いのしか対策課）
- ◎ 農産物の販売力を強化するとともに、商工業や観光など他産業との連携を促進するほか、農福連携に取り組みます。（農業政策課、商工労働課、観光振興課、障害福祉課）（6-1-1、6-3-3 関連、2-3-1 関連）
- ◎ 農業・農村に対する理解を促進します。（農業政策課）

**アンケート指標（市民が思う割合）**

●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>●りんご、もも、ぶどうなどの、おいしい農産物が生産されている地域である</li> <li>○<u>地元産の農産物を買うように心がけている。</u></li> </ul>		

**統計指標（統計による指数）**

指標名	内容	現状値	目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>●果樹の新品種・新技術導入による栽培面積</li> </ul>	りんご新わい化、ぶどう新品種の栽培面積推計値		
<ul style="list-style-type: none"> <li>●<u>市の農業生産額</u></li> </ul>	<u>市内で生産される農作物の生産額推計値の令和3年度から5年間の累計</u>		



## 施策3 森林の保全と資源の活用促進 【森林農地整備課】

### 【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○		○			○	○	○	○		○

### 現況と課題

- 小規模分散所有や木材価格の低迷、森林所有者の高齢化、若者の都市部への流出等により森林整備への意欲が低下するとともに、境界不明や未相続による所有者不明地が多く、これらが支障となり森林整備は捗っていない状況です。

今後は、新たな森林管理システムである森林経営管理制度を活用して、木材の生産や水源涵養・防災減災等森林の持つ公益的機能の充実を図るほか、林業の担い手の確保・育成や次世代を担う若者への森林教育による意識付け、バイオマス等森林資源の有効活用を図っていく必要があります。

### 図表

- 森林の所有形態（森林率と民有林・国有林区区分及び民有林の所有形態）の割合（森林農地整備課）

### 目指す状態

◎森林が守り育てられ、森林資源が有効に活用されている。

### 主な取組

- ◎森林が持つ公益的機能を維持・増進するための森林整備を促進します。（森林農地整備課）（4-1-1 関連）
- ◎木材の利用を促進するとともに、未利用木材の木質バイオマス利用による需要拡大を推進します。（森林農地整備課、環境保全温暖化対策課）（3-1-1 関連）
- ◎森林や林業を身近に感じることができ環境づくりを推進するとともに、森林の果たす役割や重要性に対する意識を高めます。（森林農地整備課、環境保全温暖化対策課）

### アンケート指標（市民が思う割合）

●環境や体制に関する評価 ○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●森林が整備されている地域である ○（設定なし）		

### 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
●木材伐採量	<u>国・県・市への森林整備補助申請実績、伐採及び伐採後の造林の届出書</u>		

### 個別計画

長野市森林整備計画、第三次長野市環境基本計画、長野市地球温暖化対策地域推進計画、長野市バイオマスタウン構想、第三次長野市やまざと振興計画

# 分野 6 産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」（産業・経済分野）

## 政策 3 特色を活かした商工業の振興

【担当部局】 商工観光部

### 施策 1 商工業の強化と環境整備の促進 【商工労働課】

【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○						○	○			○

#### 現況と課題

- 商業・工業とも事業所数は減少していますが、販売額や出荷額は増加傾向にあります。  
一方、令和元年東日本台風災害や新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、本市経済に大きな影響を与えています。  
また、インターネットによる買い物の拡大やライフスタイルの多様化に伴い、消費者ニーズが変化しています。  
このような経済環境や社会環境の変化に対応し、地域活力の源となる地域の商工業の持続可能な成長のため、商工団体や大学等高等教育機関などの関係機関との連携を強化し、経営力・販売力・技術力の向上を図る必要があります。

#### 図表

- 事業所数と年間商品販売額（小売業）の推移（企画課）

#### 図表

- 工業事業所数と製造品出荷額の推移（企画課）

#### 目指す状態

- ◎ 持続可能で足腰の強い工業生産や商業活動が展開され、地域外からの利益が取り込まれている。

#### 主な取組

- ◎ 魅力を高める商店街の環境整備を支援します。（商工労働課）
- ◎ 事業継続に繋がる人材育成などの取組を支援します。（商工労働課）
- ◎ 長野市ものづくり支援センターの活用などにより、経営力を強化する取組を支援します。（商工労働課）
- ◎ 制度資金や融資あっ旋等により、中小企業の経営基盤の安定と強化に取り組みます。（商工労働課）
- ◎ 商工団体等の活動を支援します。（商工労働課）

#### アンケート指標（市民が思う割合）

● 環境や体制に関する評価 ○ 回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
● 市内に个性的で魅力的なお店が増えている		
● 活力のある企業が多い地域である		
○ 地元のお店で買い物をするように心がけている		

### 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
● 商品販売額（小売業） （年）	経済センサスまたは商業統計調査による小売業の販売額		
● 製造品出荷額等（年）	経済センサスまたは工業統計調査による従業者4人以上の事業所の出荷額		

### 個別計画

長野市商工業振興・雇用促進計画

## 施策2 地域の特性が光る商工業の推進 【商工労働課】

### 【SDGs 関連】

社会						環境					経済				全体	
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○						○	○		○	○

### 現況と課題

- 本市は、県内最大の商圏人口を有するとともに、幅広い産業がバランスよく集積しています。特に、情報通信業については、従業者数が中核市平均の約2倍となっていることから本市を特徴づける産業となっています。また、首都圏への近接性が高いことに加え、豊富な自然環境に恵まれていることから、各地域における特色を活かし、生産性や付加価値の向上を図ることで、地域の特性に応じた商工業の形成を推進する必要があります。

#### 図表

- 事業所数と年間商品販売額（小売業）の推移（企画課）（再掲：6-3-1）

#### 図表

- 工業事業所数と製造品出荷額の推移を表すもの（企画課）（再掲：6-3-1）

### 目指す状態

- ◎ 中心市街地、中山間地域などの地域ごとにある様々な特色を活かし、商工業に活気があり、まちがにぎわうとともに、本市の特長を活かした新製品・新技術が開発され、企業活動が活性化している。

### 主な取組

- ◎ 多様な地域の特性に応じた商業環境の形成を推進します。（商工労働課）
- ◎ 中心市街地を中心に、空き店舗、空き家等を活用した出店を支援します。（商工労働課）
- ◎ 信州ブランドを活かした特色ある物産品等の販売を促進します。（商工労働課）
- ◎ 地域経済への波及効果が高いものづくり産業やICT産業の振興を支援します。（商工労働課）

### アンケート指標（市民が思う割合）

- 環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
● [再掲：市内に個性的で魅力的なお店が増えている]		
● [再掲：活力のある企業が多い地域である]		
○ [再掲：地元のお店で買い物をするように心がけている]		

### 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
● 商品販売額（小売業）（年）（再掲：6-3-1）	経済センサスまたは商業統計調査による小売業の販売額		
● 製造品出荷額等（年）（再掲：6-3-1）	経済センサスまたは工業統計調査による従業者4人以上の事業所の出荷		

### 個別計画

長野市商工業振興・雇用促進計画

**施策3 新たな活力につながる産業の創出 【商工労働課】**

**【SDGs 関連】**

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○						○	○			○

**現況と課題**

- 消費者ニーズの変化や人口減少による市場の縮小が続く中、持続可能な経済成長のためには新たな力が必要です。産学官金の連携によるオープンイノベーションの推進や、起業家育成、企業誘致等により、新たな産業の創出につなげていく必要があります。

**図表**

- 大学などと共同で新技術・新製品の開発を行う件数の推移（商工労働課）

**目指す状態**

- ◎ 自然の循環と経済の発展を両立させる、長野らしい産業の創造に向けた、オープンイノベーションや起業・創業などの動きが始まっている。

**主な取組**

- ◎ 集客やにぎわいの創出などにつながる取組を支援します。（商工労働課）
- ◎ 起業・創業者を育成します。（商工労働課）
- ◎ 特色あるものづくり産業とICT産業の集積を促進します。（商工労働課）
- ◎ 農業を始めとする様々な分野との連携による新産業の創出や販路開拓への取組を支援します。（商工労働課、農業政策課）（6-2-2 関連）
- ◎ 事務所の移転など企業誘致を推進します。（商工労働課、秘書課東京事務所）

**アンケート指標（市民が思う割合）** ● 環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
● <u>新しいお店や会社を興そうとする人が増えてきている</u> ○（設定なし）		

**統計指標（統計による指数）**

指標名	内容	現状値	目標
● 新技術・新製品開発件数	長野市ものづくり研究開発事業の選定を経て、大学などと共同開発を行う事業件数（H17年度からの累計）		

**個別計画**

長野市商工業振興・雇用促進計画、長野市農業振興アクションプラン

# 分野6 産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」(産業・経済分野)

## 政策4 安定した就労の促進

【担当部局】 商工観光部

### 施策1 就労の促進と多様な働き方の支援 【商工労働課】

【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
			○	○	○	○						○				○

#### 現況と課題

- 専門・技術などの職種に関しては常に人手不足の状態であることから、これらの人材育成を促進し、雇用とのマッチングにつなげる必要があります。
- 市内の高校生・高等専門学校生等の約6割が市外での就職を希望していることから、市内での就職に向けて事業所の特長や求人情報を周知する必要があります。
- 市外の大学等に進学した学生のうちUターン就職者は約4割にとどまっていることから、市内企業等との出会いの場の創出や、暮らし方の魅力も含めて市内企業等への就職に向けた情報発信をする必要があります。
- 高齢者や子育て世代などのニーズに応じた多様な就労形態が求められており、ハローワークなどの関係機関と連携し、様々な人が就労できる環境づくりを進める必要があります。

#### 図表

- 技術職・専門職に関する求人倍率の推移 (商工労働課)

#### 図表

- 就職についての高校生・高等専門学校生等の意識 (商工労働課)

#### 図表

- 県内出身学生のUターン就職率の推移 (商工労働課)

#### 目指す状態

- ◎ 企業の特徴や求人に関する情報が容易に入手でき、働き方改革が推進されるなど多様な働き方が可能になることで、就労が促進されるとともに、様々な人が就労しやすい環境が整備されている。

#### 主な取組

- ◎ 地元企業の魅力や仕事に関する情報発信を推進します。(商工労働課)
- ◎ 働くことの動機づけや、地元へ戻るきっかけづくりとなる地元産業に対する理解を促します。(商工労働課、学校教育課)
- ◎ 多様な働き方が実現できる職場環境の整備を促進します。(商工労働課)
- ◎ 仕事と子育ての両立支援や障害者、シニア世代の就労確保等を推進します。(商工労働課、こども政策課、保育・幼稚園課、子育て支援課、人権・男女共同参画課、障害福祉課、高齢者活躍支援課) (2-1-1、2-2-1、2-3-1、2-5-2 関連)
- ◎ 職業能力の開発などの人材育成を支援するとともに、雇用とのマッチングにつながる職業相談に取り組みます。(商工労働課)

**アンケート指標（市民が思う割合）**

●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●仕事を見つけやすい環境が整っている ○（設定なし）		

**統計指標（統計による指数）**

指標名	内容	現状値	目標
●就職情報サイト「おしごとながの」*のセッション*数	インターネット就職情報サイト「おしごとながの」のセッション数		

**個別計画**

長野市商工業振興・雇用促進計画、第二期長野市子ども・子育て支援事業計画、第五次長野市男女共同参画基本計画、第二次長野市障害者基本計画、第六期長野市障害福祉計画、第九次長野市高齢者福祉計画



## 施策2 勤労者福祉の推進 【商工労働課】

### 【SDGs 関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○						○				○

### 現況と課題

- 企業等の福利厚生事業が減少・廃止されるなど勤労者の労働環境は厳しい状況であるため、福利厚生施設や人材育成・研修機関を持たない中小企業等で働く勤労者が、いきいきと働くことができる環境を整える必要があります。

#### 図表

- 力を入れるべき施策として「勤労者の労働環境の整備」を選んだ市民の割合  
(広報広聴課「まちづくりアンケート」)

### 目指す状態

- ◎中小企業の福利厚生や研修の機会が確保され、勤労者がいきいきと働いている。

### 主な取組

- ◎福利厚生の機会の提供を支援します。(商工労働課)
- ◎勤労者の雇用と生活の安定や福祉増進に向けた取組を支援します。(商工労働課)

### アンケート指標 (市民が思う割合)

- 環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●市内に勤める知人や友人がいきいきと働いている ○(設定なし)		

### 統計指標 (統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
●長野市勤労者共済会*への加入者割合	中小企業勤労者数に占める長野市勤労者共済会の会員数の割合 (当該年度の4月末時点)		

### 個別計画

長野市商工業振興・雇用促進計画

## **分野7** 快適に暮らし活動できるコンパクトなまち「ながの」(都市整備分野)

### **政策1** いきいきと暮らせる魅力あるまちづくりの推進

**施策1** 地域の特性に応じた都市機能の充実

**施策2** 暮らしを支える生活機能の維持

**施策3** 多世代のだれもが暮らしやすいまちづくりの推進

**施策4** 地域の特色を活かした景観の形成

### **政策2** 拠点をつなぐネットワークの充実

**施策1** 地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築

**施策2** 拠点をつなぐ交通ネットワークの整備

# 分野 7 快適に暮らし活動できるコンパクトなまち「ながの」(都市整備分野)

## 政策 1 いきいきと暮らせる魅力あるまちづくりの推進

【担当部局】 都市整備部、建設部、上下水道局

### 施策 1 地域の特性に応じた都市機能の充実 【都市政策課】

【SDGsとの関連】

社会						環境					経済				全体	
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○					○		○	○		○

#### 現況と課題

- 都市部では、市街地の拡散と人口密度の低下により、市民生活へのサービス提供に課題が生じているため、公共交通の利便性の高い地域などに都市機能を集約し、まちづくりにおける総合的な災害対策と連携しながら、市民生活の質の維持・向上に取り組む必要があります。

#### 図表

- 人口集中地区(DID)\*の面積と人口密度の推移を表すもの  
→変更予定あり(図表の変更内容については、検討中)

#### 目指す状態

- ◎中心市街地や鉄道駅周辺など都市拠点となるべき地域における人口密度が維持され、市民生活へのサービスの提供可能な都市機能が集約し、居心地の良い空間が形成されている。

#### 主な取組

- ◎「都市機能誘導区域\*」と「居住誘導区域\*」を設定し、都市拠点としての機能を高め、集約型のまちづくりを進めます。(都市政策課、市街地整備課、駅周辺整備課)
- ◎都市公園を適正に配置するとともに、災害発生時に対応できる公園を充実します。(公園緑地課)

#### アンケート指標(市民が思う割合)

●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●中心市街地や鉄道駅(旧松代駅を含む)周辺は、総合的に見ると買い物、医療機関、金融機関、福祉施設などが集まり、利便性が高い地域である ○(設定なし)	%	

#### 統計指標(統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
●人口密度 → <u>変更予定あり</u>	居住誘導区域の人口密度 →(内容については検討中)	人/ha	人/ha

#### 個別計画

長野市都市計画マスタープラン、第三期長野市中心市街地活性化計画(予定)、長野市公共交通ビジョン、長野市緑を豊かにする計画

## 施策 2 暮らしを支える生活機能の維持 【道路課】

### 【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○	○						○	○		○

### 現況と課題

- 生活道路、上下水道や情報通信網などの生活を支える都市基盤は、将来的に維持費の増大が見込まれることから、計画的なメンテナンスの実施や新技術の導入などにより、財政負担の軽減を図りつつ、計画的に改修・更新する必要があります。
- 過疎化が進行する中山間地域では、日常の生活機能を維持する公共施設の複合化・多様化などの取組と併せて道路防災によるインフラの強靱化が必要となります。

### 図表

- 耐用年数を超えた水道管を更新しない場合の老朽管延長の推計（水道整備課）  
 （※耐用年数は通常 40 年であるが、S60 年以降に布設したポリエチレンスリーブ被覆のダクタイル鋳鉄管は 80 年とする。）

### 目指す状態

◎市民の暮らしを支える都市基盤や日常生活に必要な機能が維持されている。

### 主な取組

- ◎都市基盤を支える生活道路を ICT などの先端技術を活用することで効率的に維持・管理します。（維持課、道路課）（4-1-1 関連）
- ◎健全な事業運営の下、安定して水道水を供給するとともに、下水道機能を維持します。（上下水道局総務課、水道整備課、水道維持課、浄水課、下水道整備課、下水道施設課）（4-1-1 関連）
- ◎地域の情報通信基盤を維持します。（情報政策課）
- ◎地域で暮らし続けるために必要な環境を維持します。（都市政策課）

### アンケート指標（市民が思う割合）

●環境や体制に関する評価 ○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●日常生活に必要なインフラが整備されている ○（設定なし）	%	

### 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
●上水道管路の耐震化率	上水道管路総延長に占める老朽管更新などにより耐震化された管路延長の割合	%	%

### 個別計画

長野市都市計画マスタープラン、第 三 次長野市やまざと振興計画、長野市橋梁長寿命化修繕計画、長野市水道ビジョン、長野市下水道 10 年ビジョン、第 五 次長野市高度情報化基本計画

### 施策3 多世代のだれもが暮らしやすいまちづくりの推進 【建築指導課】

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
					○	○					○				○	○

#### 現況と課題

- 暮らしやすいまちづくりを引き続き推進するため、だれもが安心して移動できるユニバーサルデザイン\*を取り入れた歩道の整備、公共建築物などのバリアフリー\*化を進める必要があります。
- 良質で安全な住宅ストックを形成し、だれもが安心して暮らせる住まいを安定的に確保すると共に、地域の魅力を活かした住環境づくりを進める必要があります。
- 既存住宅の利活用を促進すると共に、管理不全の空き家の増加を抑制する必要があります。

#### 図表

- 外出の際に困ったり、不便と感ずることについての障害者（児）の意識（障害福祉課）

#### 目指す状態

◎だれもが気軽にまちなかを移動でき、地域の魅力を活かした暮らしやすい住環境が整っている。

#### 主な取組

- ◎ユニバーサルデザインの導入やバリアフリー化を進めます。（道路課、建築課、建築指導課、障害福祉課、交通政策課）（2-3-1 関連）
- ◎空き家に関する相談・指導体制の充実と適正管理や利活用の支援に取り組みます。（建築指導課、人口増推進課、住宅課、環境保全温暖化対策課、予防課、地域活動支援課）
- ◎市営住宅の適正な配置と多様な利用者ニーズに応じた改善に取り組みます。（住宅課）
- ◎緑化を推進するとともに、緑育\*活動を促進します。（公園緑地課）

#### アンケート指標（市民が思う割合）

●環境や体制に関する評価 ○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●市内の道路、建物のバリアフリー化が進んでいる ○（設定なし）	%	

#### 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
●道路施設における歩行空間の整備	①1.5m以上の歩道総延長 ②点字ブロックの総延長 ③歩車道の段差解消箇所数	① km ② km ③ 箇所	① km ② km ③ 箇所

#### 個別計画

第二次長野市障害者基本計画、長野市都市計画マスタープラン、第三次住宅マスタープラン計画（長野市住生活基本計画）、長野市緑を豊かにする計画、長野市空家等対策計画

## 施策4 地域の特徴を活かした景観の形成 【都市政策課】

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○								○		

### 現況と課題

- 住民や関係団体などと協働し、本市の魅力である自然と調和した景観や歴史的・文化的な景観を形成するとともに、これまで継承してきた文化財を活用した特色あるまちづくりを更に推進する必要があります。

### 図表

- 長野市の魅力について市内外居住者の意識を表すもの

⇒H27年度に実施した「長野市人口分析調査」から図表を作成したが、同一条件での調査が継続して行われていないため、要検討

### 目指す状態

- ◎豊かな自然環境と調和した景観や、地域固有の歴史・文化が感じられる景観が形成されている。

### 主な取組

- ◎地域特性を活かした景観の形成を促進するとともに、景観に対する意識の向上に取り組みます。(都市政策課)
- ◎地域固有の歴史・文化を感じられるまちなみを保全・整備します。(都市政策課、文化財課)  
(5-3-2 関連)

### アンケート指標（市民が思う割合）

●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●景観やまちなみが美しい地域である	%	
○家のまわりの緑化や美化など、美しい景観づくりを心がけている	%	

### 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
●道路美装化*延長	歴史的風致の維持向上のため、周囲の良好な景観に調和した道路美装化延長	km	km

### 個別計画

長野市景観計画、長野市歴史的風致維持向上計画



# 分野 7 快適に暮らし活動できるコンパクトなまち「ながの」(都市整備分野)

## 政策 2 拠点をつなぐネットワークの充実

【担当部局】 都市整備部、建設部

### 施策 1 地域のまちづくりと一体となった公共交通の構築 【交通政策課】

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○		○	○				○	○		○

#### 現況と課題

●公共交通網の人口カバー率は約 85%ですが、モータリゼーションの進展などにより、生活路線バスの利用者は減少傾向にあることから、**地域の特性・実情に応じた公共交通網の整備を行うと共に、利便性の向上のための環境整備や利用促進により、地域公共交通を維持・確保することが必要**です。また、本市の家庭におけるCO<sub>2</sub>排出量に占める自動車の割合が高いことから、自家用乗用車に過度に頼らない交通へ転換する必要があります。

#### 図表

●自家用乗用車数と路線バス輸送人員の推移(国土交通省、企画課)

●一世帯当たりのCO<sub>2</sub>排出量(環境保全温暖化対策課)

#### 目指す状態

◎だれもが利用しやすい公共交通が構築され、多くの人々が利用している。

#### 主な取組

- ◎集約型のまちづくりに適応するよう公共交通網を再編します。(交通政策課、都市政策課)
- ◎中山間地域を中心に、住民や行政等が協働して公共交通を支える仕組みを構築します。(交通政策課)
- ◎公共交通の利用環境の充実と、「地域の公共交通を共に支える」意識を高める取組を進めます。(交通政策課)(3-1-1 関連)

#### アンケート指標(市民が思う割合)

●環境や体制に関する評価○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている	%	
○通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している	%	
○公共交通を、自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている	%	

#### 統計指標(統計による指数)

指標名	内容	現状値	目標
●公共交通利用回数	市民一人当たりのバス・鉄道などの公共交通機関を利用した回数	回/人 (R)	回/人



## 個別計画

長野市都市計画マスタープラン、長野市公共交通ビジョン

## 施策2 拠点をつなぐ交通ネットワークの整備 【交通政策課】

【SDGsとの関連】

社会							環境					経済				全体
貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	不平等	平和	水・衛生	エネルギー	気候変動	海洋資源	陸上資源	経済成長と雇用	イノベーション	持続可能な都市	生産と成長	実施手段
						○		○	○				○	○		○

### 現況と課題

- 自家用乗用車に過度に頼らない交通への転換に向け、公共交通の利便性を向上させる必要があることから、生活路線バスなどの走行円滑化を実現するため、幹線道路の整備や交通結節機能の向上に取り組む必要があります。また、**自転車の利用促進を図るため、都市部における自転車道など\***を整備する必要があります。

#### 図表

- 自家用乗用車数と路線バス輸送人員の推移（国土交通省、企画課） 再掲：7-2-1)

- 一世帯当たりのCO<sub>2</sub>排出量（平成24年度）を表すもの（環境保全温暖化対策課）（再掲：7-2-1)

### 目指す状態

- ◎自家用乗用車に過度に頼らず、中心市街地、観光地などの拠点や生活機能の拠点を移動できる交通ネットワークが形成されている。

### 主な取組

- ◎交通ネットワークの構築に必要な幹線道路整備を進めるとともに、公共交通の利便性を高めるため、**最先端技術を活用したスマートモビリティサービスの導入**を検討します。（交通政策課、道路課、維持課、都市政策課）
- ◎ミニバスターミナルの検討を含めた公共交通路線相互の乗換えなどの交通結節機能の向上に取り組みます。（交通政策課、道路課、都市政策課）
- ◎都市部における自転車ネットワーク\*の形成に取り組みます。（道路課、交通政策課）

### アンケート指標（市民が思う割合）

●環境や体制に関する評価 ○回答者自身の実践状況

指標名	現状値	目標
●〔再掲：公共交通の利用により、市内を移動できる環境が整っている〕	%	
○〔再掲：通勤、通学、通院などの移動手段として、公共交通機関を日常的に利用している〕	%	
○〔再掲：公共交通を、自らの暮らしや地域を維持するために必要なものであると理解し、支えていこうと心がけている〕	%	

## 統計指標（統計による指数）

指標名	内容	現状値	目標
●公共交通利用回数（再掲：7 －2－1）	市民一人当たりのバス・鉄道 などの公共交通機関を利用し た回数	回/人	回/人
●自転車通行空間の総延長	自転車道などの総延長	Km	km

## 個別計画

長野市都市計画マスタープラン、長野市公共交通ビジョン

## 9 計画の推進に向けて

---

まちの将来像の実現に向け本計画の実効性を高めるためには、施策の成果を客観的に評価し更に改善していくため、前期基本計画と同様に、進捗管理の方法と、これを推進していく体制を整えます。

また、市民に対して計画に関する情報発信を積極的に行い、市民の理解を深めるとともに、協働して計画を推進していきます。

### (1) 計画の進捗管理

本計画を推進するため、P D C Aサイクルにより進捗を管理します。具体的には、計画の推進状況を指標によって客観的に評価・検証するとともに、行政評価の結果も活用し、より効果的に施策を展開するための手段（取組や事業）を改善するサイクルを継続的に繰り返すことで、より大きな成果を上げられるよう取り組みます。

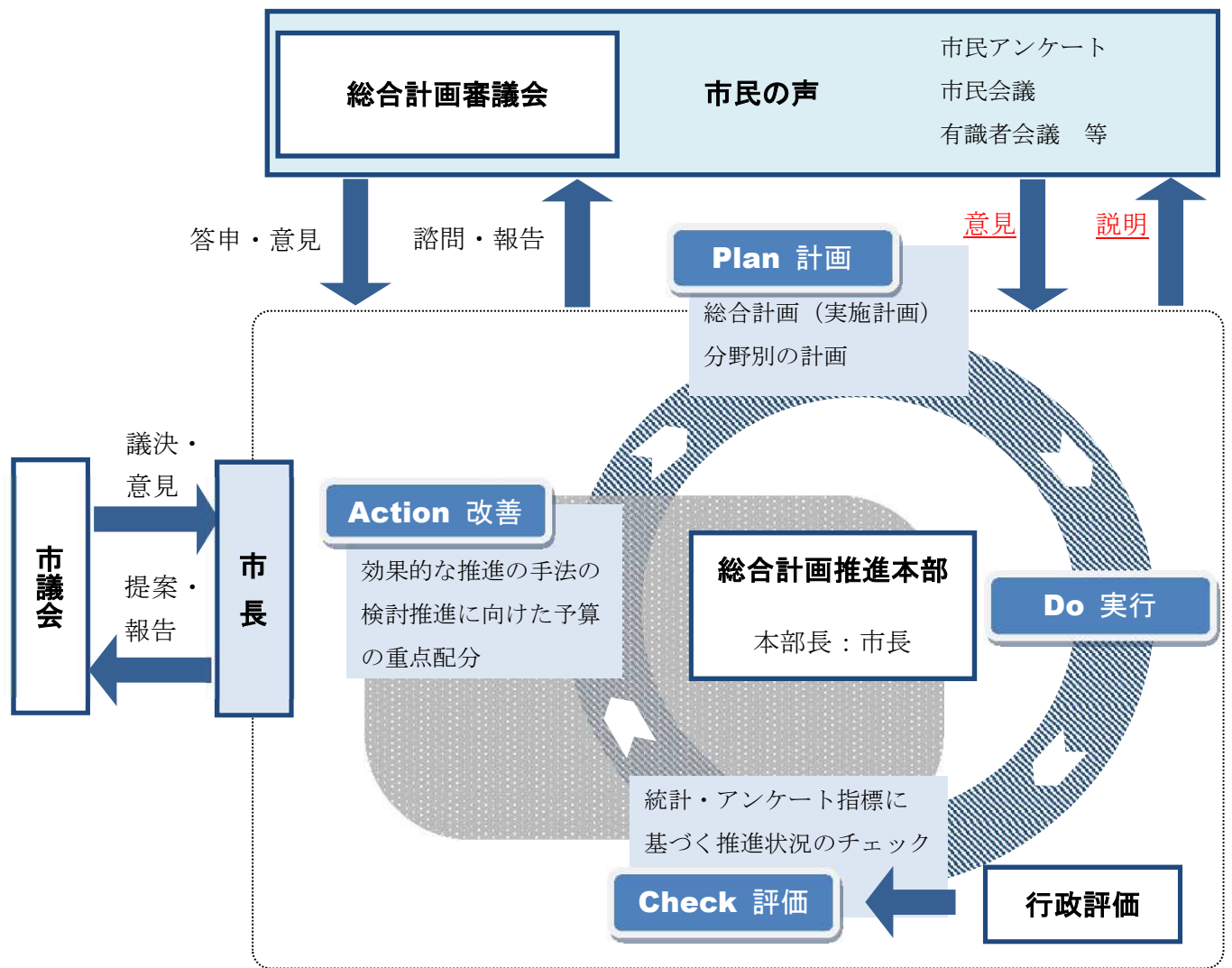
また、実施計画により、その年度に取り組む具体的な事業を示すとともに、分野横断テーマを実現するための「テーマ実現のための視点」についてそれぞれ関連する施策を示します。

### (2) 計画の推進体制

主に推進状況の確認（Check）、効果的な推進の手法の検討（Action）、推進に向けた予算の重点的な配分などを任務とする総合計画推進本部を設置します。また、全ての施策を対象とし、後期基本計画に掲げる分野横断テーマについても進捗を管理します。

### (3) 進捗管理の結果公表

各施策や分野横断テーマの評価・検証結果は、報告書を作成し毎年度公表します。



# 基 本 構 想

(平成 29 年 3 月 21 日可決)

■序論

■本編

# I 序論

---



## 1 策定の趣旨

---

本市は、平成 17（2005）年 1 月と平成 22（2010）年 1 月の合併を踏まえ、安定成長時代への移行を前提に、新たなフレームで平成 28（2016）年度を目標年次とする第四次長野市総合計画を策定し、「～善光寺平に結ばれる～人と地域がきらめくまち“ながの”」を目指して、まちづくりを進めてきました。

平成 23（2011）年の地方自治法の改正では、国の地方分権改革推進計画に基づき、地方公共団体の運営に関し、基本構想の策定義務が廃止されました。

しかし、人口減少や少子・高齢化の本格的な進行等、従来にはない変化に的確に対応し、継続的な発展に向けた総合的かつ計画的な行政運営の指針として、長期的な展望を示すために第五次長野市総合計画を策定することとしました。

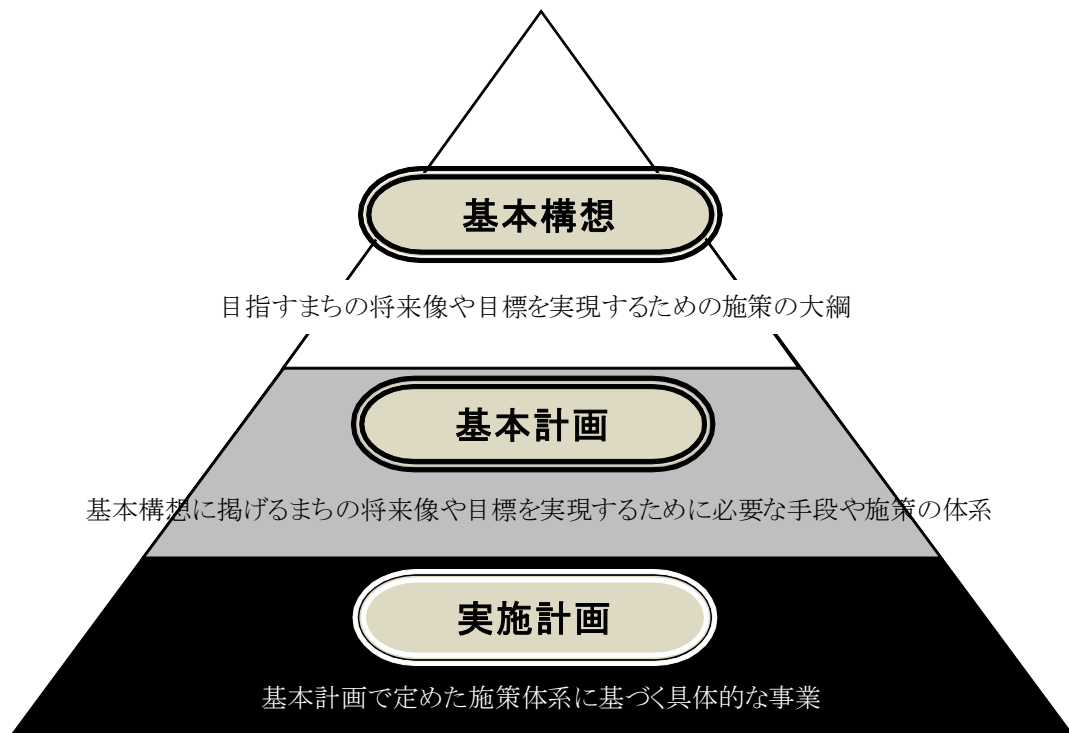
また、多くの分野で策定されている個別計画は、本計画を補完し具体化しているものであり、本計画は本市の最上位計画（最高方針）として位置付けるものです。

なお、本計画の基本構想については、長野市議会の議決すべき事件に関する条例に基づき、平成 29 年 3 月市議会定例会において議決を経ました。

## 2 計画の構成

基本構想、基本計画、実施計画の構成とし、目まぐるしく変化する社会経済情勢に柔軟かつ迅速に対応するため、必要に応じて見直すこととします。

- 基本構想は、長期的な観点に立ち様々な情勢の変化などを見据えながら、目指すまちの将来像や目標を明らかにし、これらを実現するための施策の大綱\*を示します。
- 基本計画は、基本構想に掲げるまちの将来像や目標を実現するために必要な手段、施策を体系的に明らかにします。
- 実施計画は、基本計画で定めた施策体系に基づく具体的な事業を示します。



## 3 計画期間

- 基本構想：10年間【平成29（2017）年度から38（2026）年度まで】
- 基本計画：5年間【前期は平成29（2017）年度から33（2021）年度まで】
- 実施計画：1年間 （年度）

	平成29 2017	平成30 2018	平成31 2019	平成32 2020	平成33 2021	平成34 2022	平成35 2023	平成36 2024	平成37 2025	平成38 2026
基本 構想	→									
基本 計画	→					→				
実施 計画	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

## 4 時代の潮流と長野市らしさ（強みと可能性）

---

### (1) 時代の潮流

#### ■本格的な人口減少時代の到来

我が国の人口は、平成 20（2008）年をピークに減少局面に入っており、今後、減少スピードは加速度的に速くなると推計されています。

本市も、平成 12（2000）年にピークとなり、今後は減少の推計となっています。また、人口構成は、より一層少子・高齢化の進行が見込まれており、社会保障関係費の増大が懸念されます。

このように、人口減少、少子・高齢化が進む中においては、経済規模の縮小や税収の減少が見込まれることから、効率的・効果的なまちづくりを進めていく必要があります。

さらに、地方から大都市圏、とりわけ東京圏への流出傾向が続いており、歯止めをかける対策の必要性が高まっています。

#### ■価値観の変化・多様化

物質的な豊かさが増進した現代社会において、価値観や生活様式が変化・多様化してきており、人々の志向は「物の豊かさ」から「心の豊かさ」へ変化しています。

こうしたことから、複雑・多様化する市民ニーズに的確に対応していく必要性が高まっています。

また、社会基盤整備が進む中、これらを有効に活用し、適切に維持・管理しながら「量から質」や「ハードからソフト」への転換の必要性も高まっています。

#### ■安全・安心に対する意識の高まり

東日本大震災の発生、集中豪雨による浸水被害などが続発していることから、災害に対する危機意識が高まっています。

また、地球温暖化・大気汚染などの環境問題や尊い生命・財産を奪う事件・事故の続発により、安全・安心に関する意識も高まっています。

#### ■経済情勢

経済情勢の安定成長から低成長への移行を踏まえ、税収の大きな伸びは期待できない状況にあります。

こうしたことから、戦略的な施策の絞り込みや限られた行政経営資源\*の効率的な配分による財政状況等に即した自治体経営が必要です。

このように、変化の激しい社会・経済情勢の中、地方公共団体として大きな転換期を迎えていると言えます。

## (2) 長野市らしさ（強みと可能性）

長野市ならではの強みを活用して更に魅力を高めるとともに、課題には正面から向き合うことで将来への可能性に転換し、長野市らしいまちづくりを推進するための共通認識として、本市が有する強みや可能性を掲げます。

### ■地理的な特性

本市は長野県の北部に位置し、市内の中央に千曲川や犀川が流れ、妙高戸隠連山国立公園\*をはじめとする山並みに抱かれた長野盆地にあります。

季節風の影響を受けにくいため年間を通して湿度が低く、寒暖差が大きい中央高地の気候ですが、日本海側の気候の特色も併せ持っています。また、台風の影響を受けにくく、全国平均と比較し降水量は大変少なく、晴れの日や日照時間が多い地域です。

### ■豊かな自然

自然環境と生態系\*を健全に維持していくための基礎となる多様な動植物が生息・生育し、市街地から自動車ですら30分程度の距離に飯縄山、戸隠山等の豊かな自然が広がっています。

市域の約4分の3を占める中山間地域の豊かな自然は、適切に保全しながら観光交流や子育てなど、幅広く有効に活用できる可能性を有しています。

### ■独自の歴史・文化

古くから善光寺の門前町として栄え、明治30（1897）年に市制を施行して以来、地域の政治・経済の要として発展してきました。

武田信玄と上杉謙信が戦った川中島古戦場、真田十万石の城下町松代、伝説の里戸隠や鬼無里など全国的に有名な歴史・文化遺産を有しています。

### ■都市としての機能

長野県の県都として、国や県の行政機関、スポーツ・コンベンション\*施設や文化・研究機能が集積しています。また、長野県北部の中核として、商業施設や福祉・医療等の都市機能も集積しています。

複数の高等教育機関が所在しているため、専門的な知見や学生の活力をまちづくりへ活用できる可能性を有しています。

### ■交通の要衝

北陸新幹線（長野経由）や高速道路等の高速交通網により、太平洋側と日本海側を結ぶ拠点としての機能を持っており、新幹線では東京から最速で約80分の距離にあります。

平成27（2015）年3月の新幹線金沢延伸により、観光・経済などの面で北陸地方との交流が活発になってきており、更なる広域的な連携強化や交

流の推進につながる可能性を有しています。

#### ■オリンピック開催都市としての財産

平成 10（1998）年のオリンピック・パラリンピック冬季競技大会や平成 17（2005）年のスペシャルオリンピックスの開催により、世界的な知名度を有しているとともに、冬季スポーツ競技の大会を開催できる施設や高いボランティア意識など、有形無形の財産も有しています。

オリンピック・パラリンピック冬季競技大会等の開催から長い時間が経過しており、様々な財産を改めて見つめ直し後世へ継承することで、本市への誇りの更なる醸成につながる可能性を有しています。

また、様々な大会開催を主な契機として、ボランティア団体の登録数が多くなっており、高いボランティア意識を活用したまちづくりの推進につながる可能性を有しています。

#### ■産業の構造

主な産業としては、卸売業・小売業や医療・福祉を中心とする第三次産業が総生産ベース\*で約 8 割を占めているほか、第二次産業では食料品、電子部品等の製造業も盛んです。また、第一次産業では、りんご、もも、ぶどうなどの果実が市場から高い評価を受けています。

こうしたことから、産業間はもとより、産学官金\*など多様な主体の相互連携を強化することで「長野市らしさ」という付加価値と相乗効果を高め、更に競争力を強化できる可能性を有しています。

#### ■市民との協働\*によるまちづくり

平成 17（2005）年と平成 22（2010）年の合併による市域の拡大に伴い、地域の住民ニーズや特性に配慮した施策が求められていた中、地域住民との協働による取組を行うことで、地域の実態に即したまちづくりを進めるとともに、地域の課題を迅速かつ効果的に解決するために、地域住民主体のまちづくりを積極的に支援していく都市内分権を進めています。

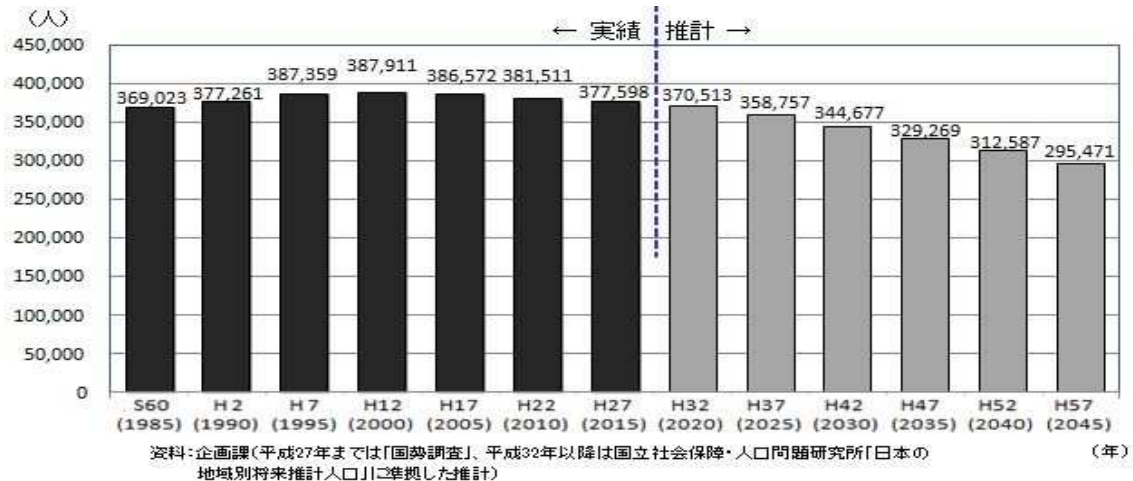
この仕組の課題を解決し一層充実することにより、市民や地域の力を活かしたまちづくりの推進につながる可能性を有しています。

このように、十分に利用・発信していない資源や環境を強みとして再認識し、活用に向け従来にない横断的な取組が必要となっています。

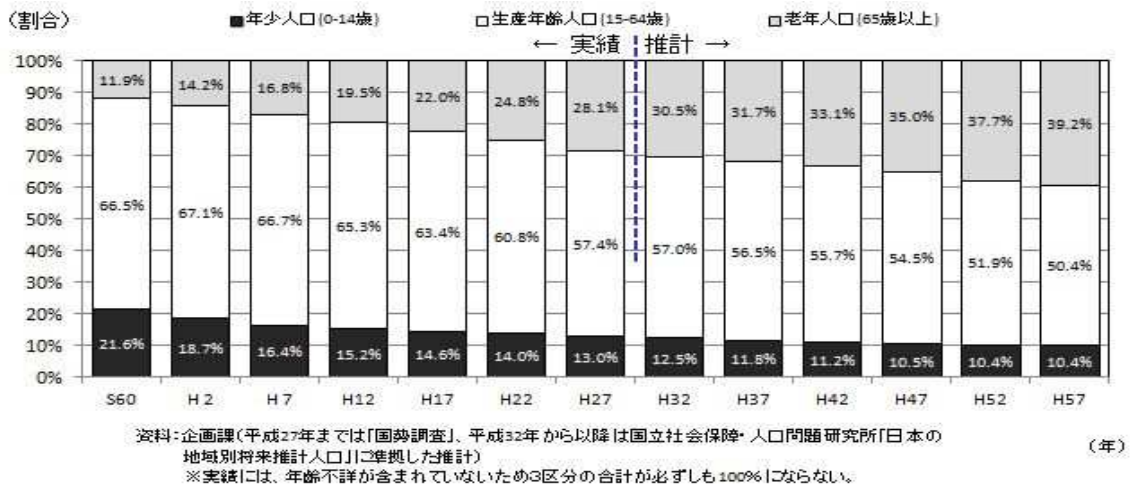
## 5 基本指標

### (1) 人口推計

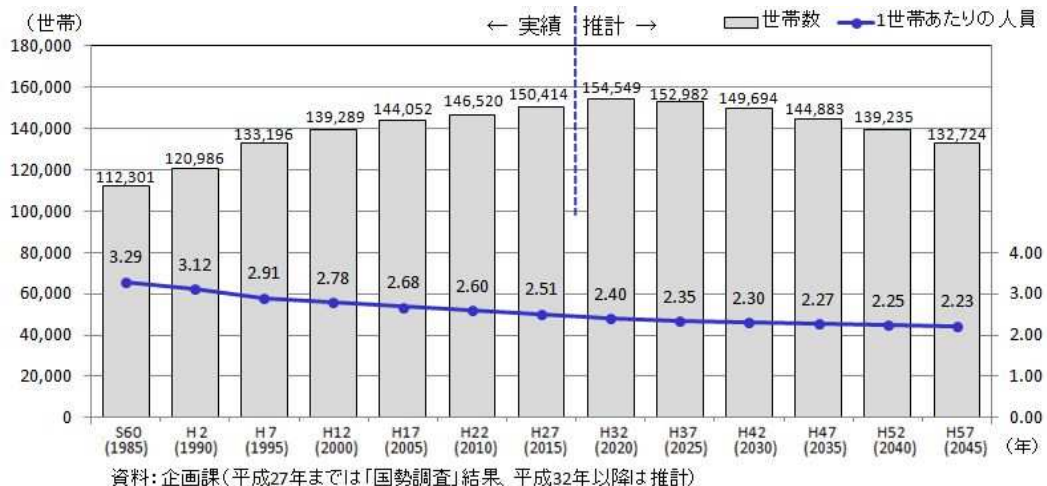
#### ■ 総人口



#### ■ 年齢3区分別人口

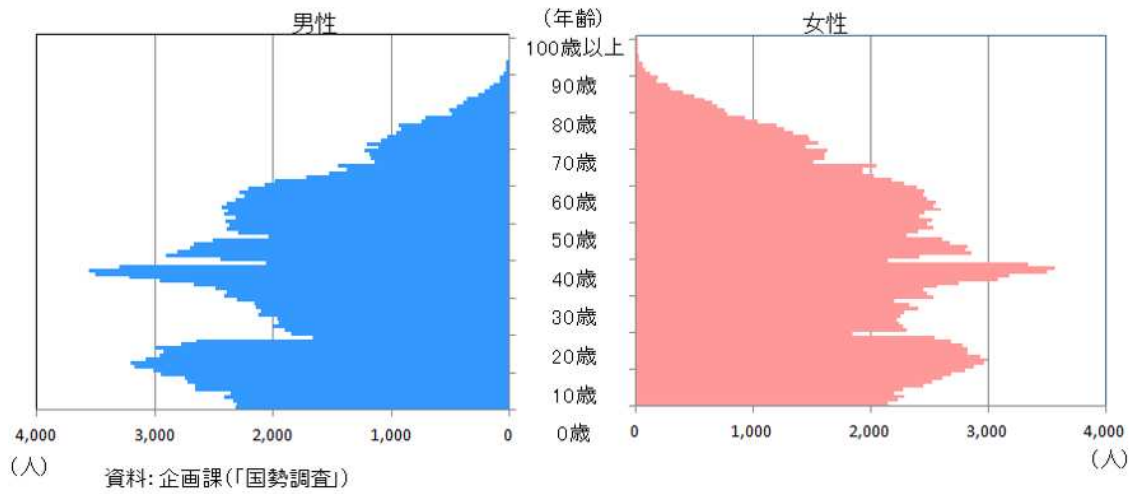


#### ■ 世帯数

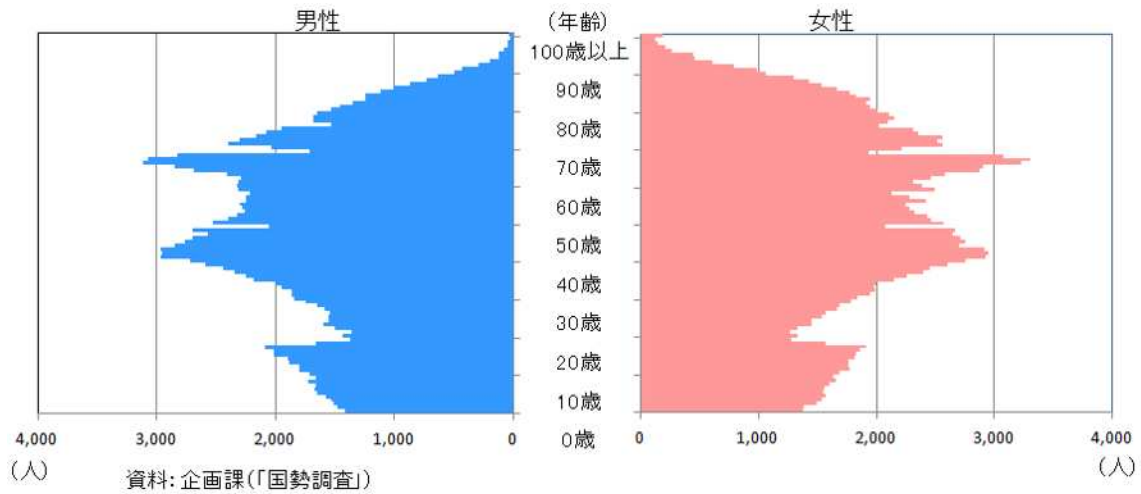


## ■ 人口ピラミッド

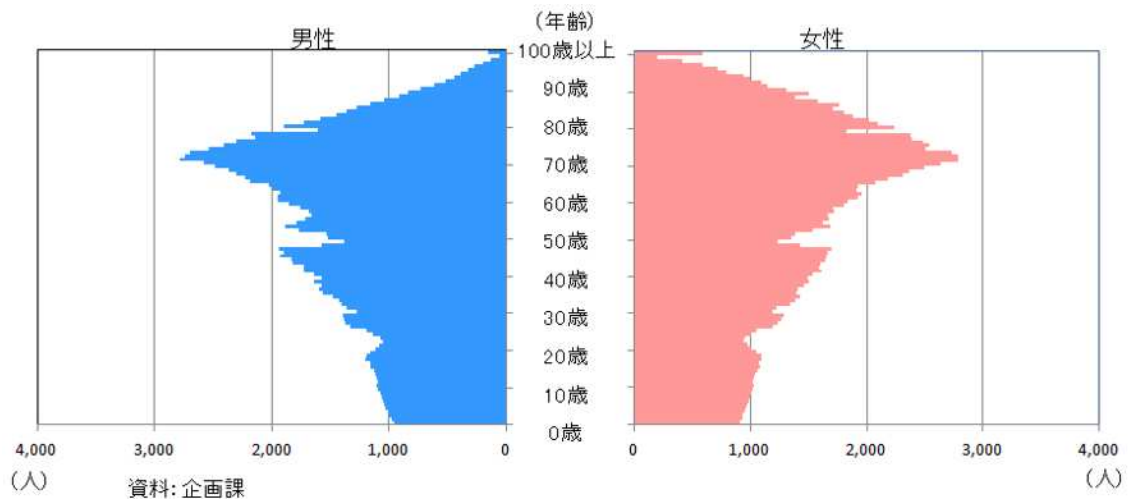
[昭和 60 (1985) 年]



[平成 27 (2015) 年]



[平成 57 (2045) 年]





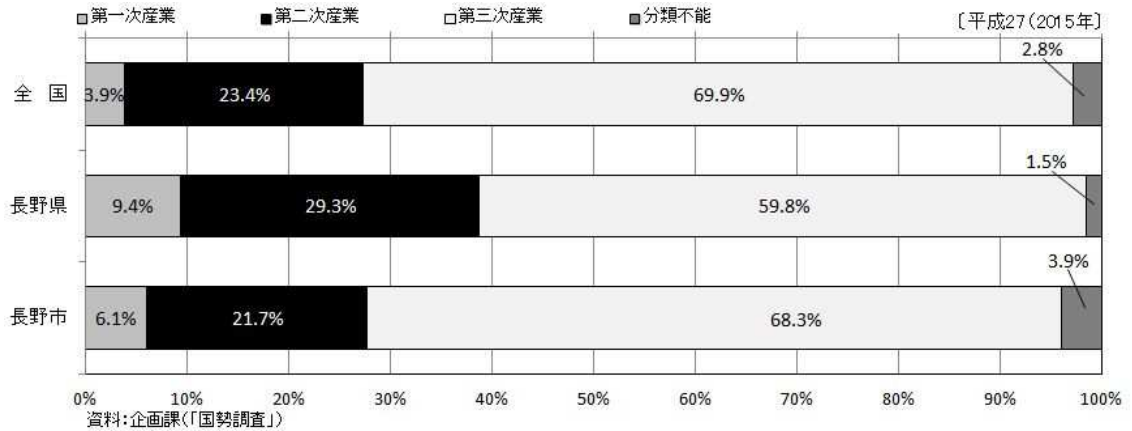
## (2) 人口動態

### ■ 自然動態と社会動態

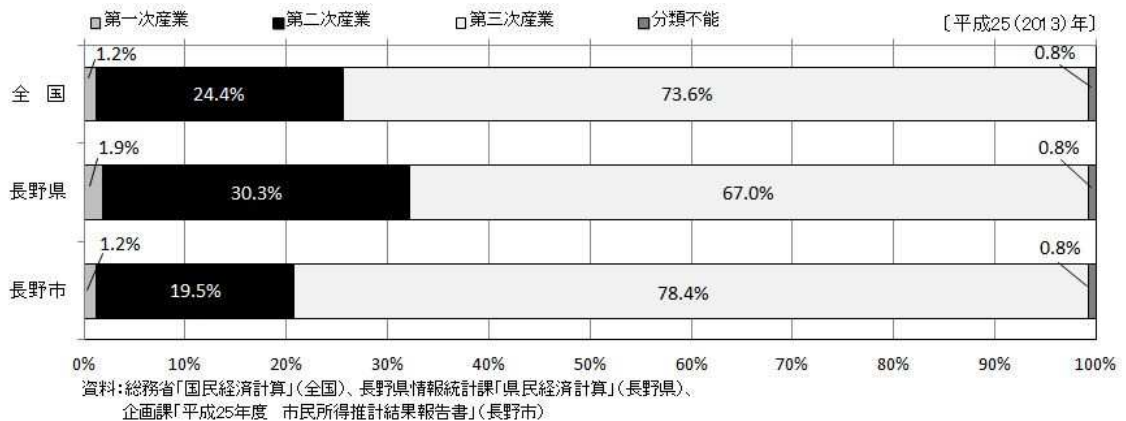


## (3) 就業構造

### ■ 就業者数の産業別構成比



### ■ 総生産の産業別構成比



## Ⅱ 本論

---

## 1 まちづくりの基本方針

---

人口減少の推計などが表すように、時代の転換期を迎えていることから、今後は従来どおりの考え方、姿勢、手法では未来を切り開いていくことはできません。

以下の基本的な方針の下に本計画を実行し、まちの将来像の着実な実現を目指すこととします。

### (1) 市民の「幸せ」の実現

人口減少、少子・高齢化が進むとともに、価値観が多様化し行政課題が複雑になる中、地方公共団体の基本的役割である地方自治法第1条「住民の福祉の増進」に向け、市民個人や地域社会の「幸せ」の増進を図ることが重要です。

時代の大きな転換期である今こそ行政の基本的役割を見つめ直し、市民が真の豊かさや幸せを実感し、いきいきと生活できるまちを目指します。

### (2) 「持続可能な」まちづくりの推進

財政状況は厳しさが増すことが見込まれるため、足腰の強い財政基盤を確立し、限りある行政経営資源を効果的・効率的に活用し持続可能なまちを目指します。

公共施設については、市民の理解を得ながら、既存施設の複合化・多機能化を進めるとともに、最適な維持・管理や計画的な改修等により長寿命化を図るなど、有効に活用しながらサービスを提供し、将来世代が安心して暮らし続けられるよう見直しを進めます。

また、市民の意思と力を活かした市民との協働のまちづくりが進む中、市民や地域の力を原動力にしながら、多様な主体によるまちづくりの担い手\*と連携して持続可能なまちを目指します。

さらに、地球温暖化の防止や生物多様性\*の確保、限りある資源の有効活用など、直面する環境問題の解決に向けた取組を実施し、持続可能なまちを目指します。

### (3) 「長野市らしさ」の発揮と「まちの活力と魅力」の創出

自然環境、交通環境等、それぞれに強みと可能性を有しており、強みを更に磨き上げるとともに、可能性を拡げながら長野市らしさを十分に発揮したまちづくりを戦略的に推進します。

また、人口の減少は、まちの活力の低下に影響するひとつの要因となることから歯止めをかけるとともに、本市特有の地域資源を活用してまちの活力と魅力の維持・創出を目指します。

## 2 まちの将来像

理想とする未来の長野市を具体的にイメージし、本計画の目標となる「まちの将来像」を次のように定めます。



人口減少社会、成熟社会が到来した現在、序論で整理したように本市が有する強みを活用しながら、抱える課題を可能性に変え「長野市らしい魅力ある」まちとして、歩み続けていくことが必要となっています。

価値観が多様化し行政課題が複雑化していますが、住民の福祉の増進を図るとともに、本市の多様性ある構成\*や成り立ち・特性を踏まえた地域づくりを進め、市全体の「幸せ」の総和の拡大を目指していくことを「幸せ実感都市」と表しています。

また、副題として市民が本市への誇りを胸に未来への希望を実感できるよう、全市を挙げてまちづくりに取り組むことを「“オールながの”で未来を創造しよう」と表現しています。



### 3 土地利用構想

土地利用構想は、社会・経済情勢や本市の土地利用の状況、国・県が策定する国土利用計画を踏まえ、今後の本市の適正な土地利用を促進するための基本的な方針を示すものです。

#### 土地利用の状況

##### (1) 土地の利用区分別面積（平成 28 年 4 月現在）

土地の利用区分		面積 (ha)	構成比 (%)
農地		8,340	10
	田	2,360	農地、田と畑は、10ha 未満を四捨五入しているため、合計と一致しない
	畑	5,990	
森林		53,993	65
原野等（原野・採草放牧地）		849	1
水面・河川・水路		2,913	3
道路		3,711	4
宅地		6,416	8
	住宅地	4,388	
	工業用地	192	
	その他の宅地	1,836	
その他		7,259	9
市全体		83,481	100

##### (2) 関係法令に基づく計画区域面積（平成 28 年 4 月現在）

関係法令の名称	計画区域の名称	計画区域面積 (ha)	
都市計画法	都市計画区域	21,541	市域の約 26%
農業振興地域の整備に関する法律	農業振興地域	43,536	市域の約 52%
森林法	地域森林計画対象民有林	41,472	市域の約 50%
自然公園法	国立公園区域	10,204	市域の約 12%

#### 土地利用の現況と課題

- 市民共通の生活・生産基盤であり、限られた資源である土地は、市民の理解と協働の下、公共の福祉を十分考慮し、長期的視点に立った利用を進める必要があります。
- 人口減少の進行などの社会情勢の変化による中心市街地の空洞化の進行、低・未利用地や空き家の増加などから、都市的土地利用\*の需要が減少しています。

また、農業の担い手不足による荒廃農地の増加、木材価格の低迷等に伴い適切施業がされない森林が増加していることなどから、農林業的土地利用の需要が減少しています。

このように、全体として土地利用の需要が減少することから、土地を適切に管理し、有効に利用する必要があります。

- 自然環境の悪化は、生態系の持つ食料・水の供給機能など生活基盤の維持に影響するとともに、生物多様性や美しい景観など貴重な資源の喪失を招くおそれがあることから、自然環境を保全し、適正に活用することが求められています。
- 東日本大震災や長野県神城断層地震、集中豪雨などの経験により、安全・安心に対する意識が高まっていることから、自然災害等に対応するため、安全に配慮した土地利用が必要となります。

## 土地利用の基本方針

- ◇ 土地の適切な管理と有効利用
- ◇ 自然環境や美しい景観等を保全・再生・活用する土地利用
- ◇ 安全で安心できる土地利用

### ◇ 土地の適切な管理と有効利用

- ・ 都市的土地利用については、地域の特性に応じて市街地では都市機能を集約し、市街地周辺地域や中山間地域では生活機能を維持するとともに、低・未利用地や既存ストックの有効利用などを促進します。  
また、互いの機能を補うネットワークの形成に取り組みます。
- ・ 農業生産活動による土地利用については、優良農地の確保のほか、担い手への農地の集積・集約を進め、荒廃農地の発生抑制と農地の有効利用を促進します。  
また、林業生産活動による土地利用については、国土の保全、水源の涵養等に重要な役割を果たす森林の整備・保全を促進します。

### ◇ 自然環境や美しい景観等を保全・再生・活用する土地利用

- ・ 自然が持つ多様な機能を将来にわたり継承するため、環境保全の取組やバイオマス\*などの再生可能な資源を活用し、自然環境と調和のとれた適正な土地利用を推進します。
- ・ 美しい自然、歴史・文化を感じるまちなみや魅力ある都市空間などの景観の保全・再生・創出に取り組みます。  
また、妙高戸隠連山国立公園や千曲川、犀川などの自然資源の活用や緑豊かな里山環境を活かした観光振興などを通じ、交流人口の増加や地域間の人の流れの拡大につなげる土地利用を推進します。

### ◇ 安全で安心できる土地利用

- ・ 河川改修などのハード対策とまちづくり・地域づくりとの連携によるソフト対策を適切に組み合わせた防災・減災対策を実施するとともに、災害リスクの高い地域の土地利用を制限するなどの安全性に配慮します。

## 4 施策の大綱

---

### 1 行政経営分野

## 行政経営の方針

#### 背景

かつて経験したことのない人口減少、少子・高齢化の急速な進行に伴い、  
税収の減少や社会保障関係費の増大などによる厳しい財政状況、まちの活力  
低下が懸念される中、中・長期的な視野の下、行政はもとより市民、地域コ  
ミュニティ\*組織、市民公益活動\*団体、企業などが相互に協働し、「オール  
ながの」でまちづくりを推進していく必要があります。

#### 目指す方向

公共施設の「量」と「質」を計画的に見直すなど、限られた行政経営資源  
を最適に配分し、最大限に活用するとともに、市民のまちづくりへの積極的  
な参加と、市政に対する高い市民満足度を実現し、市民が主役の持続可能な  
まち「ながの」を目指します。

### 進めるべき政策

#### 1 市民が主役のまちづくりの推進

- 市民とともにつくる市政を推進します。
- 市民によるまちづくり活動を支援します。

#### 2 将来にわたり持続可能な行財政運営の確立

- 効果的で効率的な行財政運営を推進します。
- 市民の満足が得られる市政を推進します。
- 地方中核都市\*としての役割を遂行します。



## 人にやさしく人がいきいき暮らすまち「ながの」

### 背景

将来を担う子どもの減少や平均寿命の延伸が見込まれる中、若い世代や子育て世代が住みやすく、高齢者が生きがいを感じるとともに、だれもが認め合いながら社会に参加し、健やかに暮らすことができるまちづくりを進める必要があります。

### 目指す方向

だれもが健やかで自分らしさを発揮しながら、人がつながり、互いに支え合う中で、いきいきと暮らすことができるまち「ながの」を目指します。

### 進めるべき政策

#### 1 少子化対策、切れ目ない子ども・子育て支援

- 結婚、妊娠・出産、子育てを切れ目なく支援します。
- 子どもの成長を育む環境を充実します。
- 社会的援助を必要とする家庭等の自立を支援します。

#### 2 生きがいのある豊かな高齢社会の形成

- 高齢者の社会参加と生きがいづくりを促進します。
- 高齢者福祉サービスを充実します。

#### 3 だれもが自分らしく暮らせる社会の形成

- 障害者（児）福祉を充実します。
- 認め合い、支え合い、活かし合う地域社会を実現します。
- 生活の安定と自立を支援します。

#### 4 安心して暮らせる健康づくりの推進

- 健康の保持・増進を支援します。

- 保健衛生を充実します。
- 地域医療体制を充実します。

## **5 人権を尊ぶ明るい社会の形成**

- 人権尊重社会を実現します。
- 男女共同参画\*社会を実現します。

### 3 環境分野

## 人と自然が共生するまち「ながの」

#### 背景

環境に配慮する市民意識が育まれつつある一方、わたしたちの日常生活や社会経済活動が地球温暖化をはじめとする様々な環境問題を引き起こす一因となっていることから、環境保全に向けた取組を促進する必要があります。

#### 目指す方向

市民・地域・事業者・行政などの連携の下、豊かな自然環境を保全し次世代へ継承するとともに、環境への配慮を前提に心地よく暮らすことのできる持続可能な社会を形成し、人と自然が共生するまち「ながの」を目指します。

#### 進めるべき政策

##### 1 環境に負荷をかけない持続可能な社会の形成

- 低炭素社会\*を実現します。
- 循環型社会\*を実現します。

##### 2 自然と調和した心地よい暮らしづくりの推進

- 豊かな自然環境を保全します。
- 良好な生活環境を保全します。

## 安全で安心して暮らせるまち「ながの」

### 背景

様々な災害の頻発、事件や事故が続発しており、安全・安心に対する意識が高まっている中、万が一に備えるため適切な対策を講じていく必要があります。

### 目指す方向

様々な危険から市民の生命・財産・暮らしを守るため、自助や共助（互助）\*の市民意識の醸成を図るとともに、関係機関との連携の下、安全確保施策を推進し、安全で安心して暮らせるまち「ながの」を目指します。

### 進めるべき政策

#### 1 災害に強いまちづくりの推進

- 防災・減災対策を推進します。
- 消防力の充実・強化及び火災を予防します。

#### 2 安心して暮らせる安全社会の構築

- 交通安全対策を推進します。
- 防犯対策を推進します。
- 安全な消費生活を確保します。

## 豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」

### 背景

高度情報化やグローバル化など社会環境の急速な変化に対応し、たくましく生きていく力を育成する必要があります。また、文化芸術やスポーツは人と人をつなぎ、ふるさとへの誇りと愛着を育む力があることから取組を支援する必要があります。

### 目指す方向

家庭・地域・学校が連携し、たくましく生きる人材を育成するとともにライフステージ\*に応じた学習機会を提供します。また、文化芸術やスポーツを日常的に楽しむ環境をつくり、多彩な文化を継承・発信し、豊かな心を育み人と文化が輝くまち「ながの」を目指します。

### 進めるべき政策

#### 1 未来を切り拓く人材の育成と環境の整備

- 乳幼児期から高等教育までの教育を充実します。
- 子どもに応じた支援を充実します。
- 家庭・地域・学校が相互に連携して教育力の向上に取り組みます。

#### 2 豊かな人生を送るための学習機会の提供

- 生涯学習環境を充実します。
- 学習成果を活かした地域づくりへの参加を促進します。

#### 3 魅力あふれる文化の創造と継承

- 多彩な文化芸術を創造し活動を支援します。
- 文化の継承による魅力ある地域づくりを推進します。

#### 4 スポーツを軸としたまちづくりの推進

- だれもがスポーツを楽しめる環境づくりを推進します。
- スポーツを通じた交流の拡大を推進します。

#### 5 国際交流・多文化共生の推進

- 国際交流活動を推進します。
- 多文化共生を推進します。

## 産業の活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」

### 背景

市場のグローバル化、消費者ニーズの多様化、国内市場の縮小という経済環境の中で、産業の担い手の確保及び成長性と魅力を兼ね備えた産業の創出が求められており、長期的視点を持ちつつ着実な成果を重ねていく施策を講じていく必要があります。

### 目指す方向

多様化するニーズに対応した持続可能な産業を実現するため、産業間や事業者間の連携を強化し相乗効果を高めるとともに、担い手を育成しながら、地域特性を活かした産業を振興し、多様な就労形態が支える、活力とにぎわいのあふれるまち「ながの」を目指します。

### 進めるべき政策

#### 1 魅力を活かした観光の振興

- 豊富な観光資源等を活かし観光交流を促進します。
- インバウンド\*を推進します。
- コンベンションの誘致を推進します。

#### 2 活力ある農林業の振興

- 多様な担い手づくりと農地の有効利用を推進します。
- 地域の特性を活かした生産振興と販売力強化を促進します。
- 森林の保全と資源の活用を促進します。

#### 3 特色を活かした商工業の振興

- 商工業の強化と環境の整備を促進します。
- 地域の特性が光る商工業を推進します。
- 新たな活力につながる産業の創出を促進します。

#### 4 安定した就労の促進

- 就労を促進するとともに多様な働き方を支援します。
- 勤労者福祉を推進します。

## 快適に暮らし活動できるコンパクトなまち「なが

### 背景

都市部では、市街地の拡散と人口密度の低下により低・未利用地が増加している一方、中山間地域では、過疎化が進行しています。今後は、インフラの維持や居住者の生活を支える市民サービスの提供が困難になることが予想されるため、だれもが暮らしやすく、活動しやすい都市整備が必要です。

### 目指す方向

地域の特性に応じた都市機能の集約、中山間地域での生活機能の維持、またそれらを拠点とし、互いの機能を補うネットワークを形成するとともに、豊かな自然、歴史・文化を活かした交流とにぎわいのある、快適に暮らし活動できるコンパクトなまち「ながの」を目指します。

### 進めるべき政策

#### 1 いきいきと暮らせる魅力あるまちづくりの推進

- 地域の特性に応じた都市機能を充実します。
- 暮らしを支える生活機能を維持します。
- 多世代のだれもが暮らしやすいまちづくりを推進します。
- 地域の特色を活かした景観を形成します。

#### 2 拠点をつなぐネットワークの充実

- 地域のまちづくりと一体となった公共交通を構築します。
- 拠点をつなぐ交通ネットワークを整備します。

# 資 料

- 1 人口ビジョン
- 2 財政推計
- 3 SDGs 関連表
- 4 後期基本計画の策定経過
  - (1) 総合計画審議会への諮問・答申
  - (2) 総合計画審議会委員名簿
  - (3) 総合計画審議会開催経過
  - (4) 策定体制
  - (5) 総合計画審議会作業部会名簿
  - (6) 作業部会の開催状況
  - (7) 後期基本計画策定に係る市民参加の状況
- 5 個別計画一覧
- 6 用語解説一覧